茨城県庁　～人と人 心と心をつなぐ 情報誌～

友の会 会報

令和７年
vol. 172

表紙写真「真鍋小学校は桜色」

土浦市の土真鍋小学校のソメイヨシノの巨木が沢山の花を咲かせた。明治四十年に卒業生により校庭に植えられた五本の桜が花をつけた、圧巻である。

麻布がまかれた支柱に支えられ、根が傷まないよう地中に鉄板が敷かれているので、子供たちは根を踏むことを気にせず、木の下で遊べる。

その桜の下で、上級生が「新一年生を迎える集会」が行われている。

子供たちが大人になって、地元を離れて暮らしていても、春になると、ふと、ふるさと真鍋の桜を思い出すことでしょう。環境の変化に負けることなく、毎年沢山の花をつけることを願う。

（写真・文　県庁友の会フォトクラブ会員　成島　幸吉）

CONTENTS

目次

新年のご挨拶……2
川俣勝慶会長
大井川和彦茨城県知事
年の初めに思うこと……4
本部の動き……10
支部の動き……14
事務局だより……27

新年のごあいさつ

茨城県庁友の会 会長　川俣　勝慶

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、ご家族ともども健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は記録的な猛暑となりました。特に際立ったのが猛暑日の多さで、ウェザーニュースによれば、猛暑日地点数の合計は10，273地点と、これまでの記録を大幅に更新しました。あまりにも厳しい暑さだったので、温暖化が身近に迫っていると感じた方も多かったと思われます。

茨城県では、現在、「第2次茨城県総合計画」～「新しい茨城」への挑戦～において茨城づくり政策ビジョンで掲げた、「新しい豊かさ」、「新しい安心安全」、「新しい人材育成」、「新しい夢・希望」の4つのチャレンジをもとに、県民の方が豊かさを教示し「安心安全」な生活のもと、未来を担う「人材」が育まれ、「夢・希望」にあふれた茨城を実現していくため、県庁一丸となって本計画による政策・施策を着実に進め、基本理念である「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現に向け取り組んでいるようです。

企業誘致の推進では、急激な人口減少時代にあって本県の活用を高め続けられるよう戦略的な企業誘致に取り組み、知事就任以来の工場立地動向調査のうち、県外企業の立地件数は7年連続全国第1位となっています。

さらに、昨年は県下ご当地グルメの座を競う「シン・いばらきメシ総選挙２０２４」を開催し、食して観光資源の創出を図るとともに本県が誇る素晴らしい農林水産物の魅力を首都圏に発信し、認知度を高め、販路拡大に努めるなど、本県の魅力度を広くアピールしたことなどが、魅力度ランキング45位と最下位を脱出したひとつの要因と思われます。

今後も、「第2次茨城県総合計画」の基本理念である「活力があり県民が日本一幸せな県」の実現に向けた取り組みに、私たち県庁友の会としましても、側面から協力してまいりたいと考えております。

今年度の友の会の事業活動ですが、通常総会を昨年5月21日（火）に実施いたしました。通常総会は代議員制で、役員・代議員合わせて39名の出席のもと、順調に終えることができました。

美術展につきましては、出展数の減少や運営上の都合により、ザ・ヒロサワ・シティ会館の開催は今回で最後となりますが、今後は現在美術展運営委員会で検討しており、次回からは規模は縮小されますが、新しい運営方法で発表機会を提供できればと思っております。

支部におきましては、研修会や旅行に多くの方が参加し盛況に開催されるとともに、趣味の会の活動なども活発に実施され、魅力ある親睦団体として維持発展できるようになることを期待しております。

さて、懸案事項でありました友の会の運営改善につきましては、更なる事務事業の見直しや経費削減、広告の収入確保などを進めてきた結果、令和9年度までは単年度黒字になる見込となり、当分の間安定した財政収支を続けることができると思っております。

しかしながら会員数は減少しており、この傾向は今後も続くものと思われます。このため会員の加入促進や財源確保の取り組みなど、これまで進めてきたことに一層力を入れていくことが必要となります。会員数が減っていく中での友の会の在り方について、新たな視点から方向性を示す時期がきていると思っております。

会員の皆様もこのような状況等をご理解のうえ、これからも県庁友の会が茨城県でお互い苦楽を共（友）にした仲間の交流の場（親睦団体）として維持発展できるよう、なお一層のご支援とご協力をたまわりますようお願い申し上げます。

年頭にあたりまして、今年一年が会員の皆様をはじめ、ご家族皆様にとって、健やかですばらしい年となるようお祈り申し上げまして、新年のごあいさつといたします。

「新年のごあいさつ」

茨城県知事　大井川　和彦

新年あけましておめでとうございます。

茨城県庁友の会会員の皆様には新春を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、約30年ぶりに株価が史上最高値を更新し、高水準の賃上げが実現するなど、我が国経済がデフレ脱却への転換点を迎えた一方、「２０２４年問題」など、様々な場面で人手不足の影響が顕在化しました。

急激な人口減少をはじめ、物価高騰、頻発化・激甚化する自然災害など、私たちを取り巻く社会情勢は急激に変化しており、乗り越えなければならない課題も山積しています。

私は就任以来、この激動の時代の到来を見据え、その荒波を乗り越えるため、「挑戦」「スピード感」「選択と集中」の３つの基本姿勢のもと、先手先手で、困難な課題にも躊躇することなく果敢に挑戦してまいりました。

その結果、昨年公表された２０２１年度の県民経済計算の推計結果において、本県の経済成長率は国を大幅に上回り、１人当たりの県民所得は過去最高の全国第３位となりました。

また、県外企業立地件数は７年連続で全国第１位となったほか、総務省の人口動態調査では、過去５年間にわたり外国人を含めた人口の「社会増加数」、「増加率」ともに全国上位で推移するなど、本県が人口減少に打ち勝つための重要な成果が次々と表れてきております。

本年は、加速度的に進む人口減少による危機を乗り越えていくため、人口の「社会増」に焦点を当て、国内外から「茨城に住みたい、住み続けたい」人が大いに増える「選ばれる茨城」づくりに、全力で取り組んでまいります。

まず、豊かで経済力のある社会の構築に向け、本県の生産性を更に向上させるため、適切な価格転嫁と賃上げの両立により経済が好循環する環境づくりを進めていくとともに、利益率の高い職場を創出するための戦略的な企業誘致や、差別化と高付加価値化による儲かる農林水産業の実現、海外の力を本県に取り込むための企業の海外展開支援、インバウンド誘客などを加速させてまいります。

また、安心安全につながる生活基盤の充実に向け、医療や福祉、防災・減災対策に力を入れますとともに、多様な人材が活躍する社会の実現を目指し、魅力ある教育への改革を進めるほか、深刻な労働力不足を踏まえ、優秀な外国人材の確保・育成や生活・教育環境の整備に力を入れてまいります。

本年も、県民の皆様とともに、変化を恐れず、新たな挑戦を続けてまいりますので、なお一層のご協力、ご支援をお願いいたします。

茨城県庁友の会会員の皆様方には本年もお元気にご活躍いただき、実り多き素晴らしい一年となりますことを、心よりお祈り申し上げます。

年の初めに思うこと

新たな年を迎えて思うことは……

ふと脳裏に浮かぶ懐かしい思い出、今も続く故郷の風習、新たな年への期待、今年こそはという抱負……

友の会会員のそれぞれの思いを披露していただきました。

（文中の①は退職年　②は退職時部署）

保管資料に思う

①平成十二年　②生活環境部

水戸支部
長嶺　家光

今年の十月に誕生日が来ると八十四歳になる。若い頃は八十歳まで生きればと思っていたが、既にその年齢を超えた。私は、県職員を退職して二十四年になる。

現職時に深く関わった「つくば市、ひたちなか市及び鹿嶋市の合併、茨城県自然博物館、天心記念五浦美術館、ホテルレイクビュー水戸、アクアワールド大洗水族館、笠松運動公園拡張整備事業、ＪＣＯ原子力臨界事故」の関係資料（宅急便用箱で七箱）を自宅に保管してきた。

この保管資料には、公式記録では出てこない事柄が多く含まれている。

いつの日か、時間に余裕が出来てきた時期に再度みてみたいとの思いで保管してきた。

この資料は廃棄処分をするよりも、「事実は小説より奇なり」の諺もあるので、茨城県の近現代史の研究材料に、茨城県立歴史館に引き継ごうと思う昨今である。

自分らしく

①平成二十五年　②土木部

水戸支部
野澤　謙次

私は早生まれのため、同級生が辰年であることを羨ましく思ってきました。蛇は大嫌いで、基本的に同じ空間は共有できません。年頭にあたり、蛇は古来より再生と変化の象徴とされており、私たちもまた、新たな挑戦や変化を恐れずに前進していくことが大切だと述べるところですが、実は、コロナ禍の自粛生活が性に合っていました。小さい頃は今思うと引きこもりでしたから。時差通勤やリモートワークの推奨により多くの人の働き方が変わり、実現し得なかった余裕のある上質な暮らしを手にした人たちも多く居るのではないでしょうか。依存性の高いものが不要にという事か、私自身、アルコールの量が激減し、ゴルフのＴＶ中継は好きですが、プレーすることには興味がなくなりました。

人と人が対面で会うことには、大きなストレスを伴いますが、多少面倒くさくても、時には人に会ったり、集団に入っていく機会は、程々に維持したいと思っています。

「お楽しみはこれからだ」（古い映画のセリフ）

①平成二十六年　②商工労働部

水戸支部
横山　仁一

一昨年希望どおりに70歳で退職し、人生のご褒美の休暇を過ごしている。

退職後にまず始めたのが、散歩である。我が家の周りは里山が多く、散歩コースはいくらでもある。例えば西部図書館立寄りコース、里山自由気ままコース、暑さ避難ショッピングモールコース、大塚池周遊コースなど、なじみの場所ではあるが、歩いてみると新鮮な気持ちになる。

一番のお気に入りは双葉台団地入口にある「めだか公園」だ。近くのクリニックの先生と地域の人たちがつくり、管理している。百坪にも満たない公園だが、地下水を循環させた小川には沢山のめだかが泳ぎ、四季の植物が植えてある。ここはいつだって懐かしく、こころ温まる場所だ。

あとはゴルフ、年間50回を目標にやれる限りは続けたい。そして旅行、海外を含め、行けるうちに積極的に出かけよう。読書、音楽、大谷翔平：

今日を楽しみ、明日に期待しよう。

「お楽しみはこれからだ」

リフォームの効用

①平成二十六年　②企画部

水戸支部
増子　千勝

昨年の5月に関彰商事株式会社を退職し完全リタイアいたしました。子供たちも独立しておりますので、これを機会に自宅のリフォームを行いました。最初は簡単に考えていたのですが、床の張替え、壁紙の張替えなどの工事が始まると部屋の掃除と片付けに追われる毎日となりました。

押し入れの中から次から次へと本や使わないものが溢れ出てきて、いかに多くのモノとごみと埃の中で、断捨離には程遠い生活をしてきたことに唖然とした次第です。

3か月間家内とのバトルのうえモノの処分と片付けに明け暮れ、リフォームの終了したときにはもう疲れ果てておりました。体力的にも気力的にも今回の機会を逃がしては無理であるということも実感しました。

今は家の中の整理も終了し、片付けに動き回ったことでダイエットもできてリフォームの効用を感じております。これからの残された人生の中で、持たない生活を目標に静かに暮らしてゆくことができればと思っております。

健康維持して趣味を楽しむ

①平成二十六年　②農林水産部

水戸支部
柴田　眞幸

年金生活も六年になり、当初は毎日が日曜日の生活でしたが、その直後に親族が相次いで亡くなり、実家の維持管理等に追われる生活になりました。

このような中、唯一続いている学生の頃からの美術館巡りも、若い頃に比して近場で済ますようになり、行動範囲が狭くなっています。

昔、高階秀爾著「名画を見る眼」（岩波新書）に出会い、作者の視点を意識して鑑賞するようになりました。就職してからは、都内の美術館は元より、県立美術博物館やその後竣工（昭和六十二年）した県近代美術館の企画展等を楽しんで来ました。興味は徐々に広がり、今では絵画のほか、彫刻、笠間焼、七宝焼、彫金等の作家さんの個展等を追いかけながら楽しんでいます。

今後は、動ける内にまだ観ていないヴァチカン美術館、システィナ礼拝堂を生で観てみたいと思います。その為にも、健康寿命を延ばせるよう少しばかりの運動を兼ねた実家の草刈りやウオーキングに励みたいと思います。

「年の初めに思うこと」（ＳＤＧｓ）

①平成二十六年　②企画部

水戸支部
小松原　仁

今年は退職後十二年、七二歳です。お陰様で、この間、大きな病気もせず、現在も県とは全く違った分野である建設業界で多くの人に支えられて働けていることにとにかく感謝です。

今年は勤めも止め、残りの人生自由に過ごせれば良いと思っています。

このような中、最近気になることは、集中豪雨や熱波といった異常気象の状況です。これは温室効果ガスによる地球温暖化が原因とされています。

この状態が続けば農作物への影響をはじめ大雨などの自然災害、人の健康面など様々なリスクが生じてきます。また、影響は後世へも及びます。

このようなことから今、ＳＤＧｓや脱炭素として様々な取り組みが各方面でなされ、会社でも「ＳＤＧｓ推進計画」により、環境面も含めた対策を進めているところです。これは地球全体で取り組むべき課題です。

個人としても、省エネやゴミの減量化など、できることには限りがありますが、今何かしなければと考えてる年の初めです。

健康な人生を目指して

①平成二十六年　②県央農林事務所

水戸支部
山口　康代

仕事を離れ、各種習い事を始める毎日となり、その中で義母も無事見送りし、現在はシルバーリハビリ体操の指導員と、スポーツ吹矢の公認指導員として主に活動をしています。

他に町の健康教室への参加を含めると、月の半分程度は多少なりとも体を動かしているこの頃です。

人に何かを教える事は、不得意とする私ですが、体操指導の前日には、自分なりに話す内容や、体操動作の確認等を行うので、身体と共に頭の体操も一緒に実施していると言える。まさに自分の為に活動している状況です。

しかし、この何年か私たちの周囲の状況が変化している。定年延長等により、リハビリ体操も吹矢も六十代の方の活動が減っている。後に続く人が少ない中で、いかに組織を維持するかが悩みの種である。

私も現在吹矢の支部を任されている為、組織をいつ解散するかを模索している状況である。まさに、今後断捨離に励む事になりそうです。

こぞ今年貫く棒の如きもの

①平成二十六年　②県南農林事務所

水戸支部
小室　厚

いつの頃からでしょうか。年の初めということに抱くような感慨は少なくなり、普段の日々と変わることなく迎えるようになって何年を数えたことでしょう。私自身には、どちらかと言えば、大晦日に聞く梵鐘の方が、感慨深いものに思えるようになっています。

さて、題名の解釈のように、自分の中で変わらない信念や変えたくないという事に絶対というほど頑固に拘ってきたことはないとは思っています。しかし、傍目には頑固に見えているのかも知れません。周囲が気遣いしているのではないかと感じる時があり、反省しきりです。とは言っても、中々出来かねています。一方、このことを、都合よく解釈すれば、私の信念なのかも知れません。

今年は、完全退職（退職後、再任用や臨時的任用職員として勤務）の年と決め、ご無沙汰している人々や場所を訪れ、私の中の去年今年の意味合いを考えてみたいと思います。

年頭雑感

①平成十三年　②保健福祉部

那珂支部
柴田　紀一

年を重ねて今年三月で八十四才になります。父親（六十九才）を亡くした時、親よりは長生きしたいという思いがありましたが幸いにも叶っています。私は、五十代から高血圧症で薬を服用し、健康には気を付けながらの生活でした。定年（六十歳）で退職後は特別養護老人ホームの設立とその運営や母子生活支援施設の管理等の仕事に七年間従事しました。県職での経験を生かし少しは社会貢献出来たものと自負しております。その後は、地域との関りを深め高齢者クラブに加入し、日々グラウンドゴルフやゲートボールなどの軽い運動、会員との交流により元気を貰って生活しています。そうしたところ四年前の健康診断で食道癌が見つかり入院手術を受けました。幸い早期発見だったので内視鏡手術により癌切除が出来まして治癒に向かっています。これからの人生、日々健康維持に努めながら時々名所等への旅行や高齢者クラブの活動等に参加しながら楽しんで生活していきたいと思っています。

小唄に魅せられて

①平成十四年
②生活環境部消防防災課

那珂支部
伊野　昴

JR東日本「大人の休日倶楽部」の趣講座を通じて、「小唄」という日本の伝統文化に触れる機会を得ました。今では、神田明神下で春日流の師匠のもと、日々学んでいます。

小唄は、短い歌詞の中に深い感情や情景を表現するもので、その中でも「江戸前」と呼ばれる粋な表現が求められます。簡単そうに見えて、とても奥深い世界です。

今回は、正月の小唄として「初出見よとて」という曲を紹介します。この曲は、正月に行われる「出初式」（消防組合が新年に行う儀式）をテーマにしています。また芸妓たちがその行事を見物に出かける華やかな様子も重ねて描かれており、新年の華やかさにぴったりです。

歌詞を紹介します。初出見よとて出をかけて　先ず頭取の伊達姿　よい纏持粋なぽんぷ組ええずんと立てたる梯子のり　腹亀じゃ吹き流し逆さ大の字　ぶらぶら谷のぞき」

「六回目の巳年の初めに思うこと」

①平成二十六年　②河川課

那珂支部
澤畠　守夫

私も今年で六回目の巳年を迎え、これを機会に、これまでの人生を振り返ってみることにした。県庁を退職して、早十二年。県での勤務は土木部を中心に三十六年、はるばるここまで来たものだと改めて思う。

そもそも土木を仕事に選んだのは、大地を相手に大きくてみんなの役に立つ仕事をしたいと思い、大学で土木工学を学び、それから、ずーと土木をベースに暮らしてきた。今も、ありがたいことに土木と共に過ごしている。

そんな私は、過去に建設に関わった土木施設の前を通ると、当時の思い出が蘇てくるし、見知らぬ人が何気なく使ってくれている姿を見ると快く思えてきたりする。

今後は幅広く友達との触れ合いを求め、県庁友の会の活動などに積極的に参加するとともに、各地のジオパークや城下町、地域の発展に貢献して来た土木遺産を訪ね、その大地の成り立ちや歴史、先人達の建設の苦労を想像しながら旅をしたいと思っている。

年初に思う

①平成十二年　②自治研修所

県北支部
竹内　晶子

昭和十六年太平洋戦争が始まる少し前の十一月に生まれた。その後昭和平成と時を歩み本年退職後三度目の巳年を迎える。

この三、四年加齢高齢の波をまともに受けている。七十九歳コロナが始まった頃なんとなく歩くのがしんどくなった。リハビリをするなどで過ごしていたがそのうち本当に歩けなくなった。脊柱管狭窄症とか心身症とかいわれたが二年程のち神経内科で診てもらってパーキンソン病ということになった。脳内のドーパミン神経細胞が減少してドーパミンが足らない状態にいたようである。現在ドーパミンを補充する薬を服用して過ごしている。

身体は動きづらいし外出も自由にできない。なんとも不自由ではある。がまあまあなんとか日常生活は送れている。食べる寝る身づくろいなど日々のルーチン。興味のあることに本やネットで視たり聴いたり絵を描いたりして過ごす。この年も、気持ちと精神は好きなように自由でありたいと思っている。

「三の丸」の頃の思い出

①平成二十五年　②県北県民センター

県北支部
飯島　孝夫

県を退職して間もなく十二年が経ち、思い出されるのは半世紀も前の旧県庁で過ごした若い頃のことです。

県庁山岳部に入部し、春・夏・冬の合宿に思いザックを背負い、新宿駅から中央線の夜行列車で北アルプスへでかけました。先輩達に気合を入れられ深雪を踏み分けテント場に着くと、翌日から白馬岳や鹿島槍ヶ岳等の頂上アタック、アイゼンを利かしながら頂上にたどり着くと素晴らしい景色が待っていました。

二十五歳の時に当時の上司や同僚の理解を得て、四週間のインドヒマラヤ遠征隊の参加し、トリスルⅡ峰（６６９０ｍ）に登頂する事が出来ました。今の県庁ではとても考えられない事でしょう。

また、三の丸界隈の居酒屋にもよく行きました。「まごころ」「せっちゃん」など今はないお店が懐かしいです。「長兵衛」には今でも時々行きますが、お母ちゃんは今でも元気に迎えてくれます。

今は、退職三年後に入学した放送大学で学びながら様々な社会で生きてきた方達との交流を楽しんでいます。

しなやか老人

①平成二十五年　②潮来土木事務所

鹿行支部
日向寺　貢

自分は、幼少期に重い喘息を患い、治療のため背中に五ヶ所のお灸の跡があるが、その後の剣道鍛錬（五段）等もあり、現在まで大病もなく、健康を維持しております。日常は、孫の学校送迎や習いごとの送迎に毎日奔走する日々で、唯一木曜日は好きな仲間とゴルフと飲み会をセットし、楽しんでおります。ゴルフもスコア八十台を維持するため飛距離アップ?とアプローチ術の向上に勤しんでおります。また、稲作とハウス園芸の野菜作り等を継続しているが、最近の材料費の高騰ともに異常な猛暑による病害虫対策には年々苦慮しております。地域活動も区長や土地改良区役員等を経験しましたが、コロナ感染の影響による地域事業の変革や衰退が顕著になる中で、地域の若者との意見交換や数多くの人との関わりは、貴重な財産となっております。今後も自分の考えに拘らず、妻や孫の意見にも耳を貸す「しなやか老人」を心掛けたいと思います。

年の初めに思うこと

①平成二十五年　②土木部

鹿行支部
米川　圭紀

平成25年に茨城県を退職してから第二の職場に勤めたが十年が過ぎて、これを機にそこも退職して今は好きな事をしながらのんびりと過ごしています。しかし人生長いようで短くもう直ぐ7回目の干支が来ます。子供達も巣立ち、又2回大病をしたり長年連れ添った女房と2人きりの生活になった事等から、改めてこれまでの自分を見つめ直す機会に恵まれました。自分の幸福や満足感、生きた証等色々と考える事が多くなりました。今まであれもこれもと沢山したい事があったのですがつい忙しさにかまけて結局は何も出来ずに過ごして来てしまった様な気がします。これから先残された時間は余り有りませんが先ずは長年苦労を共にした女房と念願のクルーズ船の旅に行く予定です。又幾つか有る趣味や楽しみながら農業をしたりずっと構想していた古民家の模型作り等夢がふくらみます。これからは自分に褒美をあげながらなるべく悔いを残さない時間を過ごして行く所存です。

年の初めに思うこと

①平成十三年　②竜ケ崎保健所

県南支部
養父　洋子

退職して今年で二十四年目を迎えました。月日の経つのが早いと感じております。私の一日は新聞を読む事から始まります。朝五時になると我家のポストがポトンと開きます。冬の寒い日も雨の日も…。感謝をしながら早速インクの香りのする新聞を読み出します。そして二回目は九時頃近くのコンビニに地域新聞を買いに行きます。これは主人の仕事です。ウォーキングを兼ねて…。私は茨城川柳が大好きです。理解出来る句を読むと「クスッ」と笑い納得です。もう一つの楽しみは美術館巡りです。幸い東京に近いので、お天気を観て出掛けます。以前は一日二ケ所位楽しみましたが最近は一ケ所で充分、年齢を感じております。さて次は旅行です。十年位前までは海外旅行が大好きでしたが最近は一泊の温泉旅行で満足になりました。少し寂しいですが体力に合わせての行動ですね。

これからは戦争のない世界、そして健康で心穏やかな毎日が過ごせる様願っております。

第二の人生を楽しんで

①平成二十五年　②農林水産部

県南支部
増尾　重治

県を退職して十二年、六十六才から嫁がケーキと惣菜の店をしたいというので、自宅の長屋門をリフォームし、古民家カフェを始めました。

二〇一九年十一月にオープンし、店の名前は食工房Ｊｕｓｔにしました。

名前の由来は今、ちょうど、すぐに始めたのでＪｕｓｔとつけました。

ケーキはシフォンを中心に日替わりの惣菜を販売しています。

ケーキ材料は自分の畑で育てたサツマ、ミカン、ユズ、ブルーベリー、小豆と従子がつくった江戸崎カボチャ等を使用。他に季節のパイ、パウンドケーキ、台湾カステラ等を作っています。

購入者は近所の方やグーグルのコメントを見てきてくれます。

お店をしてお客とのなにげない会話、食べて美味しかったと言ってくれる事が喜びです。毎日ケーキを焼いて、健康で店を運営出き、第二の人生を楽しんでいます。今年でオープン六年目、元気な間は毎日ケーキをアレンジして好きな事をしていこうと思います。

住民交流イベント

①平成二十五年
②旧県西流域下水道事務所

県西支部
飯島　和一

現職時代から、鬼怒川の水面を有効利用し、地域市民がみんなで楽しめる場所を作りたいとの想いから、「鬼怒川流域交流Ｅボート大会」の運営に関わっています。会場となる鬼怒川河川敷は、5月に一面にポピーが咲き誇り、花畑が鮮やかに色づく、この心地良い鬼怒川フラワーラインで開催されています。Ｅボートは、誰もが気軽に楽しむことができる優れた交流ツールとして、全国に広まりました。ボートは、一番前に鼓手、最後尾で舵を取る舵取、他8名が左右に4名ずつ並ぶ漕ぎ手の、計10名でチームが組まれています。レースは、上流からスタートして下流に向かい、Ｕターンしてまた上流へ漕ぎ上がりゴールを目指します。毎年白熱したレース展開が、繰り広げられます。優勝したチームは、お台場での全国大会に出場します。平成16年には、全国大会を招致し、この地で開催されました。これからも、全国に誇れる住民イベントとして、地域の皆様と一緒に取り組みたいと思います。

余暇の過ごし方

①平成二十六年　②企画部統計課

県西支部
吉原　英男

辞書によると余暇とは「仕事の合間などの自由に使える時間」とあります。

では仕事のない私の時間は全て余暇時間となります。仕事を辞めた65歳から全余暇時間になったのかと思っています。この余暇時間を何に使ったかと考えてみました。

1番費やしたのは、家庭菜園です。家庭菜園といっても１００坪強の面積があり、なかなかの強敵です。ジャガイモ、玉葱、人参、トマト、ナス、大根などの定番作物を始めトウモロコシ、ラッキョウ、にんにく、菊芋等合計30種以上の作物を栽培してきました。

２番目は乱読です。本は図書館の本を中心に読んでいます。年間２５０冊程度借りていますが、乱読なので実際に読んでいるのは２００冊程度です。

次はプライムビデオ等のストリーミングを利用した映画等の鑑賞です。

その他としては、余暇と矛盾しますが、シルバー人材センターでの仕事や、区長・神社総代などの社会活動もしております。

楽しきかなわが幹事人生

①平成二十六年　②県西県民センター

県西支部
水越　正一

小中学校での生徒会に始まり、高校で卓球部マネージャー、大学で運動部連合会、県庁で高校の同窓会、退職後は友の会や自治会等々数多くの幹事を務めてきました。

特に下館一高には思い入れが強く、卓球部ＯＢ会主催で25年間、中高生・一般の卓球大会を開催しました。

一昨年は、創立百周年に当たり、同窓会役員として寄付を募って教育支援基金を創設したり、同窓会館の改築、地域や職域ごとの支部づくりなどに関わり、母校への恩返しができました。

１９０名の同級生の同窓会も３回開催しました。これも20名弱で毎月の飲会や隔月のゴルフコンペを行っている同級生が近くにいるからこそできることと思っています。

ゴルフは昨年約60回、視野狭窄で免許返納したため毎回誰かに乗せてもらっており、感謝しています。

一人暮らしですが、人様に助けられ、また少しでもお役に立つ、健康あっての楽しい毎日を送っています。

令和６年度

茨城県庁友の会通常総会　報告

本部の動き

令和６年度通常総会が５月 21 日（火）に役員・代議員 39 名出席のもと、水戸合同庁舎大会議室において開催されました。

午後１時 30 分、武藤賢治副会長の開会のことばの後、令和５年度中に亡くなられた 69 名の会員の方々に対し、黙祷を捧げてご冥福をお祈りしました。

続いて、川俣勝慶会長のあいさつ、来賓を代表として茨城県総務事務センターの森センター長のあいさつの後、那珂支部の鈴木敏之代議員を議長に選出し、議案の審議に入りました。

第１号議案「令和５年度事業報告」及び第２号議案「令和５年度収入支出決算」は、事務局からの説明と生田目陽一監事の事務監査報告の後、原案どおり承認されました。続いて、第３号議案「令和６年度事業計画」及び第４号議案「令和６年度収入支出予算書」について事務局から説明後、原案どおり承認されました。

次に、「役員の改選」について、細谷茂治常任理事から欠員になっている理事兼事務局長に加門事務局長が「三役会議・役員選考委員会」により選出され、理事会で承認されたことを報告しました。

午後２時 10 分に、武藤賢治副会長の閉会のことばをもって通常総会を終了しました。

令和６年度　理事会役員体制

会　　長	川俣　勝慶			
副 会 長	武藤　賢治	細谷　茂治		
常任理事	細谷　茂治（兼任）			
理　　事	今関　裕夫	成井　重美	朝日　　正	人見　一教
	長谷川　泉	泉　多加夫	関　　純子	橋本由美子
	澤畠　守夫	中島　　平	横山　仁一	横田　英之
理事兼事務局長	加門　由章			
監　　事	生田目陽一	羽部　順行		

引き続き、どうぞよろしくお願いします。

※令和６年度通常総会資料は、茨城県庁友の会ホームページの報告書等「令和６年度通常総会報告」からご覧いただけます。

茨城県庁友の会支部別会員数調

区分／支部名	R5.3.31 現在	新規加入者数	退会者数	R6.3.31 現在
水　戸	人 735	人 6	人 50	人 691
那　珂	246		7	239
県　北	162	3	11	154
鹿　行	94		6	88
県　南	266	1	19	248
県　西	242	2	14	230
計	1,745	12	107	1,650

内訳

新規加入者		退会者	
４年度退職者	人 6	死亡者	人 69
過年度退職者	6	退会者	38
計	12	計	107
支部間異動者	0	支部間異動者	0

令和６年度　収入支出予算額と　５年度収入支出決算額

（収入の部）　（単位：円）

科　　目	６年度予算額（A）	５年度決算額（B）	比較増減（A-B）	摘　　要
１会費	4,950,000	5,118,000	△ 168,000	会費 3,000 円×人員
２分担金	80,000	86,000	△ 6,000	美術展参加費　2,000 ×人員
３広告料	178,000	246,542	△ 68,542	会報広告掲載
４雑入	1,206	29,890	△ 28,684	コピー代、預金利子等
５寄付金	5,000	16,290	△ 11,290	会員からの寄付
６繰越金	458,794	383,645	75,149	前年度から
計	5,673,000	5,880,367	△ 207,367	

（支出の部）

科　　目	６年度予算額（A）	５年度決算額（B）	比較増減（A-B）	摘　　要
１事務費	906,000	1,033,633	△ 127,633	事務局運営費（賃借料、通信費、印刷費等）
２会議費	170,000	155,937	14,063	
総会費	70,000	47,732	22,268	総会開催諸費
役員会等費	100,000	108,205	△ 8,205	理事会、運営委員会諸費
３事業費	2,047,000	2,127,366	△ 80,366	
慶弔費	620,000	716,100	△ 96,100	長寿者記念品（80 歳傘寿）・祝・弔電代等
会報発行費	600,000	593,950	6,050	会報印刷・発送費等
美術展開催費	400,000	430,634	△ 30,634	展示委託、会場費等
加入促進費	60,000	51,660	8,340	申込書・勧誘資料印刷、郵送
情報管理費	367,000	335,022	31,978	ホームページ定期保守点検、メール配信管理費等
４交付金	1,733,000	1,836,400	△ 103,400	支部交付金（会費の 35%）
５雑費	290,000	268,237	21,763	会費振込手数料・常陽ネットサービス手数料等
６予備費	527,000	0	527,000	
計	5,673,000	5,421,573	251,427	

第 36 回　県庁友の会美術展

第 36 回友の会美術展が 1 月 18 日から 24 日まで 7 日間、水戸市のザ・ヒロサワ・シティ会館県民ギャラリーで開催されました。

毎年この時期に開催する美術展ですが、第 30 回記念美術展から県民文化の振興拠点であるザ・ヒロサワ・シティ会館で開催していることで、出展者の美術活動の高揚などが図られております。

今回は例年に比べ工芸や写真、絵画、書の 4 部門で 79 点と少ない出展数ながら、素晴らしい作品が多く、訪れた人々からの評価も高く、楽しんでいただきました。

開催期間中は、厳しい寒さの中でありましたが、友の会会員をはじめ、家族、知人その他の県民の方々 306 人に鑑賞していただき、終了することができました。

開催にあたりましては、運営委員会の委員をはじめ、会員の皆様には事前打合せや諸準備、会期中の立会いなど大変お世話になりました。

第 37 回友の会美術展は、ザ・ヒロサワ・シティ会館で開催する最後の美術展となります。

第 36 回茨城県庁友の会美術展　オープニングセレモニー（テープカット）

左　　安嶋県総務事務センター長
中央　川俣県庁友の会会長
右　　柴田県庁友の会美術展運営委員会委員長

第 36 回県庁友の会美術展閉会後　令和 6 年 1 月 24 日（水）出展者の集合写真

出展作品は、ホームページで鑑賞できます。

茨城県庁友の会ホームページから最新情報がご覧いただけます。

ホームページは、スマートフォーン、携帯電話（アプリ）の google から「茨城県庁友の会」を検索してください。

ホームページ
QR コード

支部の動き

水戸支部

水戸支部通常総会

県庁友の会の皆様、いかがお過ごしでしょうか。今年も、観測史上最も暑かった昨年に匹敵する酷暑が予報されております。熱中症にはくれぐれもご注意ください。

さて、大変遅れましたが、5年ぶりで開催した水戸支部総会について報告いたします。去る5月15日（水）11：00～ホテルレイクビュー水戸4階「桂の間」において、会員32名の参加のもと、通常総会を開催しました。令和5年度中に亡くなられた方々へ黙とうを捧げた後、鈴木支部長から、参加者に対し、川又会長からのメッセージを披露しながらのあいさつがあり、その後、議事に入る前に、水戸支部役員一人一人の紹介を行いました。

令和5年度の事業報告及び収支決算が一括付議され、事業報告においては、女性の会、趣味の会の代表の方々から、活動実績の報告とともに、会員募集のチラシが配布されるなど、熱心に会員の勧誘が行われました。加藤木監事から監査結果が報告され、両議案とも原案のとおり承認されました。

続いて、令和6年度の事業計画及び収支予算案が一括付議され、両議案とも原案のとおり承認されました。

総会終了後、25名の参加のもと懇親会を開催しました。大先輩である大関哲英さんの乾杯の音頭で開会し、コロナ禍の中、気軽に会うこともままならなかったこともあり、皆さん、久方ぶりの再会で、話題も尽きない様子で、和やかに旧交を温めていました。

今回は、コロナ禍明けの5年ぶりの通常総会で、参加者数は多くありませんでしたが、来年の通常総会には、多くの方々にご参加いただければと期待しております。

（常任理事　後藤　四朗）

水戸支部視察研修会及び講演会

今年度は、10月17日に県立歴史館開館50周年を記念する特別展「名品ゾクゾク―歴史館の半世紀―」の鑑賞と「日立オリジンパーク」の見学を中心に視察研修を行いました。

45名の参加者が県立歴史館に集合して、水戸徳川家及び一橋徳川家の名品や三昧塚古墳の出土品等の歴史館所有の優れたコレクションの数々を鑑賞しました。

その後、「鵜の岬」に向かい、常陽銀行県庁支店長の鴨田文利さんによる「人生100年の旅路」と題する講話を聴きました。これからの資産の管理、成年後見制度や遺言等のお話に熱心に耳を傾けるとともに様々な視点からの質問をさせていただきました。

昼食では、県庁時代の思い出などの話題で参加者の会話が弾みました。

午後は「日立オリジンパーク」に向かいました。オリジンパークは日立グループの創業の精神と挑戦の歴史を未来に伝えるため、令和3年11月に開館しました。

日立オリジンパークにて

小平浪平（おだいらなみへい）が久原房之介により日立鉱山に招聘された経緯や浪平の「日本は外国の模倣技術ではなく自主技術によって立つべきである」との信念のもと技術仲間とともに試行錯誤の末に完成させた純国産の5馬力誘導電動機。1920年（大正9年）に久原工業から分離独立し株式会社日立製作所を設立してから今日に至るまでの歩みなどを皆さん熱心に見ておりました。

帰路は視察のことや来年の再会を語るなど思い出に残る視察となりました。

囲碁クラブ

最近は藤井翔太の活躍で将棋界は賑わっていますが囲碁の方はこれといった話題もなく囲碁人口も減っているようで寂しい限りです。小学校の授業等に取り入れて囲碁の面白さを広められたらいいと思います。囲碁会は月一回第四月曜日にあかね荘で行っています。あかね荘は草花が良く管理されていてお姉さん方が良く面倒見て下さる。にも拘らず最近は囲碁会に来る人が減っていて寂しい。今まで来ていた方や碁をやる方はあかね荘に遊びに来て下さい。囲碁ライターの真継伸彦の「囲碁のある人生」の中に「グレないと強くなれない」というのがある。今さらグ

レる気はないけど負ければ悔しい。プロ棋士の加藤正夫の言葉に「弱いから負けるんだよ」というのがある。なぜかこのシンプルな言葉に癒される。勝負の厳しさを味わいながらボケ防止に良い「囲碁のある人生」を味わってみませんか。

連絡先

会長大籠広幸

０８０－１１２１－７４８６

会計笹島健嗣

０９０－２５５０－７５８０

（幹事　仁上　敬造）

将棋クラブ

今、将棋界は天才少年藤井七冠を負かす新鋭棋士の誕生など話題が尽きない。本会もコロナ感染の予防に留意しながら、月一回、第三月曜日に水戸市いきいきセンター「あかね荘」で、月例会を開催、和気あいあいで対局を楽しんでいます。

令和六年四月から十月までの優勝者、準優勝者は次の通りです。

月　（優　勝）　（準優勝）

四月　出沼宏恭　　綿引建夫

五月　柴山　栄　　北田久雄

六月　綿引建夫　　上川康夫

七月　北田久雄　　松浦紘寿

八月　綿引建夫　　柴山　栄

九月　北田久雄　　綿引建夫

十月　北田久雄　　松浦紘寿

和室ですが、テーブル・椅子の使用許可を得て楽な姿勢での対局です。入会希望者は筆者（☎〇七〇－四四九七－四四三六）まで連絡下さい。

（北田　久雄）

県庁ＯＢテニスクラブ（ウオーク・スイミング）

健康長寿を目指しいきいき楽しく！

水戸市の百歳以上の方々は、今年初めて、二百人を超え愈々本格的な人生百年時代到来です。このような中、私達の更なる目標は、様々なストレス因子を打ち払い健康で快適な生活を送ることでしょう（健康長寿）。

これに対応するため、健康づくり三要素（運動・栄養・休養）の筆頭である運動に親しみ、自己の健康保持・増進に役立てませんか。

現在、当クラブは、当該会員の状況に応じて、テニス、スイミング、ウオーキングなどを行っています。

入会をお待ちしております。月一回でもＯＫです。大いに楽しみましょう。

●練習会等（対象　全会員）

一　水戸市総合運動公園テニスコート又は茨城町運動公園テニスコート

二　水戸市柵町・水戸合同庁舎テニスコート

三　スイミング（水中ウオーク含む）水戸市小吹、茨城町、笠松、笠間他　随時　実施中！

四　ウオーキング　水戸千波湖・逆川　他

●お問い合わせ先

・黒澤弘忠

電話０８０－１０３８－４８６７

Ｅメール kurosawahiro@cure.ocn.ne.jp

・袖山茂

電話０９０－２１７５－９０８８

県庁ＯＢゴルフ会

当会は、会員相互の健康の保持・増進と親睦を図ることを目的に年間５回の例会を実施しております。

令和６年１月の１７１号に掲載以降の活動状況は次のとおりです。

第２３３回例会は令和５年12月６日内原カントリー倶楽部において19名の参加により開催、結果は次のとおり。

優　勝　横山　薫

準優勝　大貫　浩

ＢＧ　綿引　典之

第２３４回例会は令和６年３月14日富士カントリー笠間倶楽部において28名の参加により開催、結果は次のとおり。

優　勝　片野　壽洋

準優勝　大貫　浩

ＢＧ　大貫　浩

第２３５回例会は令和６年５月９日霞ヶ浦カントリー倶楽部において26名の参加により開催、結果は次のとおり。

優　勝　石川　博義

準優勝　片野　壽洋

ＢＧ　片野　壽洋

なお、プレー終了後定期総会を実施し、各議案とも承認されました。

第２３６回例会は令和６年９月11日扶桑カントリー倶楽部において26名の参加により開催、結果は次のとおり。

優　勝　綿抜　剛

準優勝　高沢　勲

B　G　栗原　宏之

第237回例会は令和6年10月25日笠間カントリークラブにおいて30名の参加により開催、結果はつぎのとおり。

優　勝　綿引　典之
準優勝　関根　秀隆
B　G　綿引　典之

（幹事　横山　薫）

園芸クラブ

総会は、昨年と同じく「いこいの村涸沼」に於いて、5月8日、17名の参加により開催、事業計画等すべて承認されました。その後、日帰り宴会で盛り上がり、秋旅行での再会を楽しみに、午後3時に散会いたしました。

秋は、10月22日～23日、13名の参加による福島県母畑温泉泊の視察研修旅行を実施、車内において会員持寄りの農産物の出来具合いや、近況報告など話し合いながら、高柴でこ屋敷、二本松霞ケ城公園の菊祭り、奥の松酒造の見学・試飲と予定通りにホテル着となりました。夕食宴会時には、農産物の配布、中澤氏提供の陶芸品の配布など、和気あいあいのうちに1日が終わりました。次の日は、雨にたたられ、那須高原の散策を取りやめ、道の駅那須高原友愛の森で休憩、宇都宮餃子を食し、最後の視察地、鹿沼市花木センターに寄って、早々の水戸着となりました。

（黒崎　晴成）

フォトクラブ

十月十五日に十名参加のもと、三カ所を巡る撮影会を実施しました。晴天に恵まれ撮影日和を楽しみました。

第一　連続テレビ小説『ひよっこ』のロケ地にも使われた常陸太田市旧町屋変電所では、自然豊かな風景舞台に佇む赤煉瓦の建屋が印象的でした。

第二　日立市東河内町に存在し幽玄な雰囲気を持つ玉簾の滝は、通常は観光客には閉鎖されている隣接する玉簾寺について事前交渉のうえ、境内からの撮影を許され、撮影を楽しめました。

第三　常陸太田市折橋の山中に存在する下滝は、横川鉱泉の天竜川にある滝で、二段に別れ流れ落ちる雄大な風景を楽しめました。

三カ所を巡る撮影会の後には近くの温泉旅館まで風景を楽しみながらウオークし、横川鉱泉の湯浴と会食を楽しむことができました。

（成島　幸吉）

ばらの会

令和6年6月4日　水戸生涯学習センターにて、ストーリーテラー　鐵幸子（てつさちこ）さんを講師に招き「ごんぎつね」等のお話を聞きました。参加者10名は、耳から入る童話の世界にひととき浸りました。

ばらの会の現況（令和6年4月26日現在）

・会員数　109名
・平均年令　81.5歳
・最年長　99歳
・最年少　62歳
・年令構成　60歳代　8名
　70歳代　33名
　80歳代　48名
　90歳代　20名

以上

（緑川　喜代子）

那珂支部

令和6年度定期総会を開催

定期総会は、令和6年4月26日、那珂市菅谷の福原屋を会湯に、会員17名の参加を得て開催しました。成井支部長の挨拶、来賓として本部川俣会長か

らの挨拶文の代読に始まり、成井支部長を議長に選出し議事に入り、令和５年度事業報告・収支決算報告、令和６年度事業計画案・収支予算案及び顧問の推挙に伴う同意について審議を行い、すべて原案どおり承認されました。

本年度の主な事業としては、講演会、日帰りの研修旅行、新年会等（一泊二日）の開催や趣味の会の活動に対する助成などを行うものです。

総会終了後、懇親会が開かれ、会員相互の懇談、親睦が図られました。

（常任理事　澤畠　守夫）

秋の研修旅行

秋の日帰り研修旅行で、松戸市内の国交省施設「建設技術展示館」及び水戸藩最後の藩主徳川昭武の別邸「戸定邸」等を参加者十六名で訪ねました。

建設技術展示館は、最新の建設技術等を「見て、触れて、知る」体験型施設です。最新測量機器を使った距離・角度の体験実験、ドローンでの見学記念撮影、ポンプ車などの災害対策車両や被災・老朽化した橋梁の実物の見学等ができて、たいへん有意義で勉強になるひと時でした。

楽しい語らいの場となった昼食後には、小高い丘に建っ戸定邸を訪ね、邸内の格式の高そうな表座敷、奥座敷等を見学しました。富士山、筑波山が望めるというこの小高い丘で水戸藩の歴史に思いを馳せました。

日程の最後に「葛飾柴又」へ向かい、各人それぞれの思いで柴又帝釈天に参拝し、寅さんダンゴを味わってのち、帰路につきました。

最新技術や歴史に触れられ、楽しくそして充実した一日となりました。

（研修旅行担当理事　綿引　義久）

「お薬と健康の話」の話演会を開催

８月29日午前10時から那珂市中央公民館「視聴覚室」において、会員22名が参加し、常陸大宮薬剤師会会長の渡邉様を講師にお迎えして「お薬と健康話」（～治療も健康維持も、あなたが主役です～）をテーマに、講演会を開催しました。今回は、友の会本部の加門事務局長さんが参加くださいました。

講演では、薬の副作用と効能、食べ物や飲み物との飲み合わせ、体質や基礎疾患の問題、過量服薬の危険など、薬を服用する上での注意点について講演をいただきました。

自分の健康は自分で守ることを意識して、健全な食生活と適度な運動、そして十分な睡眠時間をとるなど、生活習慣に気をつけて身体に備わっている自然治癒力を高めることが大切であるということ。薬にしてもサプリメント、健康食品にしても使うなとは言わない、頼るなとも言わないが、何でも程々が健康であるということでした。

（講演会担当理事　岡村　俊英）

那珂よし会「歴史を紡いだ茨城の先人」に行ってきました!!

本年は年初より能登半島地震に見舞われ、気候変動も厳しく災害も多発していますが、「那珂よし会」会員は皆元気に活動をはじめました。

３月22日（金）「レストランキャロッ」において、会員14名中12名の参加者と楽しい女子会ランチ後、会場を那珂市中央公民館研修室に移動して総会並びに健康講和「身体本来の力を育てる知恵少々」と「ごむ・ミニ体操」を組合せフレイル予防とエネルギーを活用したひと時を過ごしました。

６月20日（木）、９名の参加を得て県立歴史館へ、開館50周年記念企画「歴史を紡いだ茨城の先人」を観賞してきました。展示構成等研究員の解説を聴講しながら、第一章　歴史館設立の構想、第二章　公文書館法と岩上二郎、第三章　日本地図の先駆者長久保赤水、第四章　水戸学研究に尽力した菊池謙次郎、第五章　咸臨丸渡米の功労者小野友五郎について、当時の社会情勢と併せ、当時の岩上県政を担ってきた思い出話に花を咲かせました。

また、野外施設の旧水海道小学校本館の見学では、明治14年当時に建築された洋風校舎、創建された施設内部と

当時の給食内容と併せた食育指導内容の解説、国語、算数等の教科書、音楽の教育に活用されたピアノが茨城空襲を潜り抜け今も美しい音色を奏でることができ感嘆しました。

館内のカフェランチ（サンドイッチセット）では、当時の両親の子育ての苦労話、兄弟姉妹との生活状況等会員の情報交流の時と場を共有することができ心和む幸せな一日を過ごしました。

これからも、健やかに「教養と教育」＝「今日用事があり、今日行くところがある、自分の足で集いに参加する」を目標に、ゆるりと活動していきます。

（那珂よし会　照沼　美代子）

グリーン会

那珂支部グリーン会は【会員相互の親睦・交流と健康維持】を目的として活動しています。令和六年十一月現在の会員数は五三名で、年々会員数が減ってきています。

新型コロナウイルス感染症流行前の日常生活に戻り、令和六年度は、計画どおり実施できました。

令和六年度大会の成績は次のとおりです。

○第八八回大会

日　時　令和六年五月二二日
場　所　ロックヒルゴルフクラブ
参加人数　二五名
優　勝　松本　正宏
準優勝　樫村　正巳
第三位　佐藤　光明

○第八九回大会

日　時　令和六年七月一一日
場　所　水戸グリーンカントリー
参加人数　二三名
優　勝　小野瀬和夫
準優勝　安原　宏
第三位　樫村　弘明

○第九〇回大会

日　時　令和六年九月二六日
場　所　ゴルフ倶楽部セブンレイクス
参加人数　二〇名
優　勝　佐藤　光明
準優勝　青砥　晋介
第三位　片野　寿洋

○第九一回大会

日　時　令和六年一一月二〇日
場　所　マナゴルフクラブ
参加人数　二二名
優　勝　栗田　俊二
準優勝　片野　寿洋
第三位　松本　正宏

※グリーン会入会ご希望の方は幹事山﨑栄二（電話〇二九－二九八－七八八九）までご連絡ください。

（片野　壽洋）

新年会及びグラウンドゴルフ大会

令和6年度最後の事業である、新年会及びグラウンドゴルフ大会は、令和7年1月19日（日）～20日（月）、鉾田市の「いこいの村涸沼」において開催を計画しております。多数の参加をお願いします。

なお、令和5年度は令和6年1月21日（日）～22日（月）、大子町の「大子温泉やみぞホテル」において開催しました。21日の夜は久しぶりに新年会を開催し、18名が参加して大いに盛り上がりました。

翌日の午前中、健康クラブ主催のグラウンドゴルフ大会を楽しみました。入賞者及びその他の参加者は次の通り。

（敬称略）

（優　勝）中村　誠
（準優勝）井上　勇
（第3位）沼田暁美
その他の参加者
鈴木敏之、武藤賢治、柴田紀一、川崎　薫、成井重美、根本　裕、渡辺光一郎

（担当理事　渡辺光一郎）

編集委員さん！　いらっしゃい

成井　重美さん
（那珂支部）

この度、長い間ご活躍いただきました前任の川崎　薫さんから那珂支部の編集委員をお引き受けすることになりました。

早いもので友の会那珂支部に加入して一五年が過ぎました。現在は、「元気に長生き」をモットーに、バランスのとれた食事、適度な運動、十分な睡眠に気をつけながら、健康維持に心がけております。これからも友の会の行事に参加して親睦を深めるとともに、郷土史の会の活動や健康教室に参加するなど、有意義な生活を楽しんでいきたいと思っております。

編集委員会及び会員の皆様のご指導を頂きながら、「友の会会報」が会員の皆様相互の情報交換の場として一層魅力あるよう、努めてまいりたいと考えておりますので、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

県北支部

令和６年度県北支部講演会・定期総会・懇親会

県北支部においては、令和６年５月12日（日）国民宿舎「鵜の岬」において、講演会・定期総会を開催しました。長く続いた新型コロナウイルス感染症もようやく落ち着き、今年は、久しぶりにマスクなしで、笑顔を見せて行うことができました。

午前９時30分からの講演会では、サザコーヒー創業者の鈴木誉志男会長をお招きし、「茨城の偉人賢人コーヒー物語」と題して、徳川慶喜をはじめとした本県の偉人賢人達とコーヒーとの関りについて、史実などを交えながらお話を頂き、大変興味深く聴くことができました。また、鈴木会長が10種類のコーヒー豆を持参し、会場で美味しいコーヒーの淹れ方について実演してくださり、その後、参加者は実演を参考にテーブルごとに各種のコーヒーを淹れて美味しさや味の違いなどを楽しみました。なかでも、栽培が難しく収穫量も少ないため大変希少と言われている「ＧＡＩＳＨＡ（ゲイシャ）」というコーヒーは、花のような香りに加え、酸味と甘みの調和が良く絶品でした。

11時30分から、会員23名の出席のもと、定期総会を開催しました。会員物故者９名への黙とう後、令和５年度事業・収支決算の報告、令和６年度事業計画・収支予算の各案について審議が行われ、原案どおり承認されました。また、支部規約について、県庁友の会会則との整合性等を図るため所要の改正を行いました。

総会終了後、令和５年度中に入会された会員の歓迎会を兼ねて、懇親会が開かれ、会員の懇談・親睦が図られました。また、当日は天候にも恵まれ、名物の展望温泉では、白砂青松と太平洋を眺めながら入浴を楽しむことができました。

【出席者】

小貫　康夫　片桐　　保　桑名　義彦
小森　廣之　須藤　修一　丹　勝義
蛭田　信行　深澤　敏章　朝日　　正
岩間　伸博　川崎　定信　菊池　　巧
小林　孝久　近藤　文雄　生田目陽一
宮原　志朗　吉井　　豊　坂本　　均
矢代　博一　泉　　幸一　飯島　孝夫
岩上　　功　関根　秀隆

（小森　廣之）

境町隈研吾建築物・首都圏外郭放水路の旅

12月７日（土）日帰りで境町隈研吾建築物・首都圏外郭放水路見学の旅を実施しました。

首都圏外郭放水路の団体予約申込みの都合上、例年よりやや遅い12月になってからの研修旅行となりました。まず、境町において隈研吾氏設計の建築物を見学しました。ご承知のとおり、氏は国立競技場、ＪＲ高輪ゲートウェイ駅、角川武蔵野ミュージアムなど話題の建築物を手がけている世界的な建築家です。

境町との交流は２０１５年ころから始まり、町づくり構想の一環として氏が設計した建築物が次々と建てられ、現在７つの建築物が存在しています。道の駅さかいの中にあるサンドウィッチ専門店「さかいサンド」を始め５か所の建築物を見学しましたが、町の景観に溶け込みながら木材を中心とした独創的な建築美を鑑賞することができました。

次に、首都圏外郭放水路に向かいました。これは埼玉県春日部市の国道16号線の地下50ｍに掘り抜かれた全長６．３㎞、直径10ｍのシールドトンネルと、幅78ｍ、長さ１７７ｍ、天井の高さ17ｍで内部に59本の印象的な柱が並ぶ調整水槽で、それぞれ洪水を防ぐ「巨大な龍」と「荘厳な地下神殿」になぞらえられているものです。１１６段の階段を下って「地下神殿」に降り立ち、

放水路の機能や役割などについて説明を受けました。その壮大な景観には息をのむばかりでした。

気候変動の影響により、世界各地において洪水や火災、干ばつなどの災害が報道されており、日本においても、台風の多発や予測困難な線状降水帯、ゲリラ豪雨による洪水被害が各地で発生しております。このような洪水に備えた世界最大級の防災施設が存在することは大変心強い思いがしました。

この施設は平成5年から平成18年にかけて土木技術の粋を結集して建設され、これまでに年に7、8回ほど稼働し洪水調整をしているということです。

一方、この「龍」や「神殿」の力からすれば、まだ十分に余力があるのではないかと思われます。しかし、現実としては、この「龍」が大活躍をしなければならないような洪水が発生しないことが最も望ましいことです。日本の「底力」を目の当たりにしつつ、複雑な思いを胸に施設を後にしました。

バスの中では、参加者からおいしいいなりずしやサツマイモチップスなどたくさんの手料理の差し入れがあり、近況報告や「うわさ話」などにぎやかな会話が続きました。また、ビンゴゲームで車内は大いに盛り上がり（幹事の個人的な感想です。）ました。初冬のよく晴れた、やや肌寒い一日でしたが、皆さんは元気いっぱいで無事にバス旅行を終えることができました。ご協力に感謝いたします。

（参加者）

朝日　正　泉　幸一　岩間　伸博
小貫　康夫　川﨑　定信　菊池　巧
小森　廣之　近藤　文雄　坂本　均
鈴木　睦夫　丹　勝義　生田目陽一
蛭田　和子　蛭田　信行　深澤　敏章
矢越　一枝　吉井　豊

（小貫　康夫）

県北めいきゅう会

真冬と真夏を除き、年間6回の例会を開催しています。ゴルフ好きな方の参加をお待ちしています。例会の結果は次のとおりです。

○第210回

令和6年4月24日、雨のため中止

○第211回

令和6年5月22日、茨城ロイヤルCC

優　勝　鴨志田　彰
準優勝　大森　幹雄
第3位　飯島　孝夫

○第212回

令和6年6月7日、金砂郷CC

優　勝　木村　秀雄
準優勝　後藤　公男
第3位　黒羽　真之

○第213回

令和6年9月30日、那珂CC

久しぶりにHCの改正を行いました。

優　勝　生田目陽一
準優勝　関根　秀隆
第3位　大森　幹雄

○第214回

令和6年10月10日、茨城ロイヤルCC

優　勝　宮原　志朗
準優勝　関根　秀隆
第3位　鴨志田　彰

○第215回

令和6年11月11日、金砂郷CC

優　勝　小林　孝久
準優勝　小森　廣之
第3位　後藤　公男

会員同士でよく話題に出る、以前のゴルフと変わったこと。

▪ドライバー、アイアンとも飛ばなくなった。▪カートでフェアウエイに乗り入れ出来るゴルフ場を探す。▪同伴者のスコアーを数えてられない。▪午後プレーの残り3ホールあたりで、つい大叩きしてしまう、等々。

これら原因は、足腰のふらつき、もの忘れ、目のカスミあたりでしょうか。

（関根　秀隆）

第47回・第48回　県北支部グラウンド・ゴルフ定例会

第47回定例会が令和6年3月28日（木）、第48回定例会が令和6年5月30日（木）に常陸太田市の「山吹運動公園」で、それぞれ10名が参加して開催されました。なお、第48回定例会終了後に令和6年度定期総会が開催されました。

上位入賞者は次の方々です。

第47回

優　勝　生天目陽一

準優勝　吉澤　武康
第三位　土田　惣一
第48回
優　勝　高野　修
準優勝　吉澤　武康
第三位　蛭田　信行
ホールインワンは、第47回が生天目陽一さん、吉澤武康の2名　第48回が高野修さん1名でした。

第49回　県北支部グラウンド・ゴルフ定例会

令和6年9月26日（木）、常陸太田市の「山吹運動公園」で、第49回定例会が開催され、11名が参加しました。
上位入賞者は次の方々です。
優　勝　蛭田　信行
準優勝　高野　修
第三位　吉澤　武康
ホールインワンは、蛭田信行さん1名でした。

第50回　県北支部グラウンド・ゴルフ定例会

令和6年12月5日（木）、常陸太田市の「山吹運動公園 芝生広場」で、第50回定例会が開催され、12名が参加しました。
上位入賞者は次の方々です。
優　勝　蛭田　信行
準優勝　吉澤　武康
第三位　蛭田　和子
ホールインワンは、蛭田信行さん、蛭田和子さん、吉澤武康の3名でした。
幹事　吉澤　武康

編集委員さん！　いらっしゃい

今昔

会報編集委員
川又敏郎

昭和の末でしたから今はもう昔、月刊の県政広報誌が委託制作ではなく自主制作で発行されていました。広報課の編集グループでは、取材、写真撮影、文字原稿作成から手作業によるレイアウトで字数をはめ込むようなことを職員がやっていました。「県民と共に」です。懐かしいですね。
私は広報課に9年在籍、広報誌や映画などを担当しました。その頃は科学万博や常陸那珂港着工などのプロジェクトがあり、広報の生き字引的な先輩方や私とともに右往左往する後輩の皆様方と楽しく忙しく仕事をしました。
そのようなご縁もあり、茨城県庁友の会会報編集委員にとのお話をいただきました。県庁退職後、畑仕事は全くモノになっておりませんが、趣味の音楽活動（トロンボーン）は、お声かけいただければどこへでもお邪魔しております。これからもよろしくお願いいたします。

鹿行支部

鹿行支部定期総会を開催

令和6年度鹿行支部定期総会が5月17日（金）行方市のレイクエコーにおいて、23名の会員参加のもと開催されました。
開会の辞の後、人見支部長より友の会全体の課題や、現在の支部の状況等の挨拶の後、支部長が議長となり議事の審議が行われました。
報告第1号、報告第2号として、令和5年度事業報告及び決算報告について事務局から報告、監事より会計監査報告があり、原案通り承認されました。
続いて、議案第1号、議案第2号の令和6年度事業計画案、歳入歳出予算案について、趣味の会及び会員加入促進の助成として本部からの交付金が引き続き措置されたこと等を事務局から説明、原案通り承認されました。

（1）視察研修会
　会員相互の親睦と見識を広めるため、日帰りで研修会を計画する。
（2）趣味の会等への助成
　県退水郷会（ゴルフ）、女性の集いの活動を促進するため運営費の一部助成を行う。
（3）組織の強化
　支部役員等から支部への入会を働きかけ、支部組織の拡充を図る。

（幹事　草野　一夫）

日帰り研修旅行

日帰り研修旅行実施にあたり、数度の役員会を開催し、日程を11月8日、房総方面とすることとしました。

当日の朝は、これまでとは打って変わり冷え込みましたが、秋晴の中、21名が参加して、最初の目的地である、千葉県鋸南町の漁協直営の「ばんや本館」へ向かいました。

当施設では、入浴が可能との情報を得ていたので、楽しみにしていたのですが残念ながら諸事情により入浴不可でしたが、昼食は、房総の新鮮で美味しい魚料理を堪能することが出来ました。

次に、日本最初の航空専門の博物館である芝山町の航空博物館を訪れました。

当博物館では、飛行機の黎明期、発展期、成熟期の機体の模型等が展示されており、鳥のように空を飛びたいという夢に立ち向かった状況が伺い知れました。さらに、成田空港A滑走路南側に立地していることから、国際線の着陸の様子を見ながら次回の研修での再会を期して帰路につきました。

（塙　秀雄）

県退水郷会ゴルフコンペ

○第114回

　令和5年11月28日、玉造ゴルフ倶楽部捻木コースにて、11名の参加により開催。晩秋のゴルフ日和でのプレーでした。

優　勝　人見　一教
準優勝　後藤　久
第3位　郡司　良治
ベスグロ　人見　一教

○第115回

　令和6年7月24日、鹿島の杜CCにて、12名の参加により開催。この間3月、5月と計画しましたが、いずれも悪天候により順延となり、待ち望まれた大会でしたが、当日も雷雨となりハーフでのプレーとなりました。

優　勝　日向寺　貢
準優勝　岡　四郎
第3位　郡司　良治
ベスグロ　日向寺　貢
新規入会　作田　敦

○第116回

　令和6年10月24日、セントラルゴルフクラブNEWコースにて、15名の参加により開催。爽やかな陽気での大会となりました。

優　勝　高崎　真
準優勝　岡　四郎
第3位　海老原　衛
ベスグロ　草野　一夫

写真は第116回　セントラルゴルフクラブNEWコースにて

（幹事　草野　一夫）

鹿行支部「女性の集い」

「完成！かわいい！」
「帰ったら、すぐ玄関に飾る！」

　令和6年12月1日(日)、湖畔の宿「湖月」での研修会終了時の一場面です。

　昨年度好評だった「お正月飾り」作成に続き、今年度は「クリスマスリース」に挑戦。

　色とりどりのパーツをどの位置に配置すればバランスが良いか、接着の角度をどうすれば表情豊かになるか、と賑やかに会話も弾み、忙しかったのは手元だけではありません。

　講師の先生の丁寧なご指導と、現役時代の仕事ぶりを思わせる会員の集中力で、完成品は自慢できる出来栄えです。

　その後は、芸術鑑賞の時間です。

　講師から絵画の技法の一つであるコラージュについての説明を受け、思い出の写真や雑誌を切り抜いて一枚のストーリーを表現した作品や、身近な植物の茎や花に手を加えた素材を使って表現する発想豊かな作品に触れ、少し遅れた「芸術の秋」を堪能しました。

　最後に協議事項として「今後の活動

について」を議題に意見交換した結果、会員減少の課題は残るものの、情報交換や研修等を通じた会員の親交を継続する、となりました。

12月とは思えない暖かな日差しを受けながら、完成したクリスマスリースを手に解散しました。

会長　小見トモ子
幹事　橋本由美子

県南支部

令和6年度　県南支部研修会

新型コロナウイルスの感染が下火になっても参加者が集まらず実施できませんでしたが、今年10月20日（日）にやっと実施することができました。日帰りの現地集合・現地解散で、参加者は24名。

研修内容も今までのバスによる名所旧跡巡りから、心の修養を行なう座禅会、落語を楽しむ会に変えました。

座禅会は、阿見町の西光寺という禅宗のお寺で、住職よりお寺の歴史、座禅についての教義のあと座禅を行いました。雑念を払い、無の胸中で座していると20分（正式には40分で短縮）もあっという間でした。最後のころは若干足に痺れがきましたが。

昼食前には落語で楽しみました。県職ＯＢの水野さんより一席。芸名「福の屋　耕作」で活躍中とのこと。時間の余裕があればもっと聞きたかった思いです。

そして、食事。久しぶりに会った会員同士が近況等を語りながらのひと時で、友の会の目的のひとつである親睦を深めることができました。また、割烹料理のメニューも豪華で、特に女性の参加者には好評でした。

今回の研修会をとおして、高齢化で遠くへ出かけることは無理でも近場であれば出かけられる、また、見聞きだけでなく体験できることも参加の要因かなと感じました。今後の研修会もより多くの会員の方が参加できるようなものにしていきたいと思います。

県南支部歴史講演会の開催

「徳川家康と水戸・県南諸藩の経営」令和六年一月二十四日の午後から土浦市内の茨城県霞ヶ浦環境科学センターにおいて会員四十四名が参加して開催されました。講師は水戸史学会理事の仲田昭一氏にお願いいたしました。

講演では、徳川家康は織田信長との同盟、浅井・朝倉・武田等との戦い、豊臣秀吉との駆け引きを経て太田道灌ゆかりの地に江戸城を築くことになるが、家康は鎌倉幕府の歴史書「吾妻鏡」を愛読し江戸幕府を開くに当たってはこれも参考にしたようです。

江戸城の北の守りとして常陸国の北部に家康の十一男頼房を藩主とする御三家水戸藩を配置し、南部では二代将軍秀忠の近習であった土屋忠直を土浦藩主に任じた。土浦藩からは幕府の要職である老中、大阪城代、京都所司代、寺社奉行を輩出している。守谷城主には腹心の土岐氏、掘田氏、酒井氏を任じている。その後、頼房の五男頼隆が石岡藩主に六男頼雄が宍戸藩主に任じられている。

以上のように、古今東西の知恵を集めて天下を治める家康の一大総合力に沿って安定した幕藩体制が築かれた事を知りました。

南友会ゴルフコンペ

本会の会員数は現在37名です。そのうち参加者は、多いときは7割を超え、少ないときでも6割以上となっています。そのため組数を二つに分け、ラウンドの終了をほぼ同じにするようＩＮ

とＯＵＴで同時にスタート。その他にも幹事長が様々な配慮してくれ、いつも楽しくプレーしています。

令和６年の４月のコンペ開催時には、ラウンド終了後に本会の総会を開催。川村誠会計が令和５年度の会計収支について報告し、また長谷川和夫幹事長が令和６年度の開催計画について説明し、承認を得ました。

令和５年12月の第１８９回から令和６年10月の第１９４回までのコンペの成績は次のとおりです。

第１８９回
日　時　令和５年12月８日（金）
場　所　玉造ゴルフ倶楽部捻木コース
参加者数　25名
優　勝　北郷　新平
準優勝　大塚輝一郎
第３位　晝田　照夫
Ｂ・Ｇ　塚本　和郎

第１９０回
日　時　令和６年４月５日（金）
場　所　玉造ゴルフ倶楽部若海コース
参加者数　24名
優　勝　大槻　敬一
準優勝　猪瀬　直哉
第３位　木村　矩男
Ｂ・Ｇ　塚本　和郎

第１９１回
日　時　令和６年５月10日（金）
場　所　ＣＣザ・レイクス
参加者数　26名
優　勝　西村　和男
準優勝　鈴木　耕一
第３位　塚本　和郎
Ｂ・Ｇ　塚本　和郎

第１９２回
日　時　令和６年６月７日（金）
場　所　ダイヤグリーン倶楽部
参加者数　23名
優　勝　入江　和己
準優勝　鈴木　俊一
第３位　増尾　　守
Ｂ・Ｇ　塚本　和郎

第１９３回
日　時　令和６年９月13日（金）
場　所　玉造ゴルフ倶楽部捻木コース
参加者数　23名
優　勝　大野　　平
準優勝　晝田　照夫
第３位　湯原　　昇
Ｂ・Ｇ　塚本　和郎

第１９４回
日　時　令和６年10月11日（金）
場　所　ダイヤグリーン倶楽部
参加者数　27名
優　勝　矢口　和博
準優勝　岡野　貞男
第３位　橋本　邦夫
Ｂ・Ｇ　塚本　和郎

本会のゴルフコンペに参加をご希望される方は、長谷川和夫幹事長（０９０－３１３３－８０５１）までご連絡下さい。

（幹事　橋本　邦夫）

囲碁は老化防止に抜群の効果！

県南支部棋道クラブは、二十年前は会員数二十人でしたが、今は残念ながらほぼ半減しました。しかし、メンバーは意気盛んです。七～八人が集まり、烏鷺のゲームに興じています。会場は『ビジネスホテル土浦』（桜川河畔）で、毎月第二土曜が定例会です。

定例会の四月は春季大会、十月は秋季大会として豪華賞品(?)を奪い合っています。コロナ禍にあっても、平成四年の七・八月を休んだだけで乗り切りました。前にも記しましたが、囲碁の利点は「足腰の衰えに比較的左右されず、脳活に大変良い」ことです。

全国的には将棋の藤井、囲碁の一力という時代になりつつあります。話題になった女流棋士の仲邑菫さんも韓国で活躍しています。囲碁人口は減少しているといわれますが、興味のある方は、会場を覗いてみてください。

（文責：飯田三年）

県西支部

支部の動き

県西支部では、35名の出席のもと５月17日（金）に筑西市内「ダイヤモンドホール」において「令和６年度定期

総会」を開催いたしました。総会では令和5年度の事業や収支の報告、6年度の事業計画や予算の審議を行い、いずれも満場一致で承認・決定されました。また、本年度は宿泊での研修旅行を実施することといたしました。総会後には筑西警察署員から詐欺や窃盗などの現況や注意点についてお話をいただきました。その後、県西県民センター長から県の動き等の講話のあと、懇親会を実施いたしました。

また、9月24日（火）から25日（水）にかけて貸し切りバスにより群馬県方面へ研修旅行を実施いたしました。参加人数は20名でした。初日は甘楽町の「こんにゃくパーク」、軽井沢の「白糸の滝」などを見学し、草津温泉に宿泊。夜は懇親会で自慢ののどを競いました。翌日は、強い酸性の川を中和するため川に石灰を投入する「品木ダム水質管理所」や、いろいろと話題になった「八ッ場ダム」を見学し帰路につきましたが、天気にも恵まれ楽しい研修になりました。

今後も研修旅行や講演会の実施、また、紫西会（ゴルフ）、史跡巡りの会、女性の会（すみれ会）への支援などを引き続き行い、会員の皆様に役に立つような事業を進めて参ります。

（常任理事　清宮　正人）

五年ぶりの発車、史跡巡りの会研修旅行

今回の行き先は昨今の円安、物価高を考慮し、昨年計画した「どうする家康」の愛知県岡崎方面は諦め十一年前の大河ドラマ「八重の桜」の会津方面に例会「二十日会」で決定。令和六年七月十八日、猛暑の中、すみれ会々員七名を含めた県西支部史跡巡りの会のメンバー二十一名が、会津若松・芦ノ牧温泉に向かって中型サロンバスに乗り込み下館駅南口を五年ぶりに発車（一泊二日の旅）しました。

まず、中島会長の挨拶、併せて旅行日前日の宿泊場所（東山温泉格安ホテル→芦ノ牧温泉大川荘）変更といったハプニングのお話の後、皆様からの差し入れのアサヒスーパードライで乾杯。バスは東北自動車道矢板ICから白河方面に向かい、車中は手作りオシンコ、茶菓子、現役時代のエピソードを肴にビール、ワイン、銘酒がすすむこと、更にカラオケで大いに盛り上がりました。

最初の史跡は南北朝時代（千三百年代半ば）結城家分家である白河庄を治めていた結城宗広の嫡男親朝が築いた小峰城（復元された三重櫓、前御門、東日本大震災で崩落し、平成三十一年に修復完了した石垣）を見学しました。昼食を挟み「二本松少年隊」で有名な二本松城跡を訪れ、本日の宿「芦ノ牧温泉大川荘」に到着しました。

吹き抜けの大広間に設けられた浮き舞台から三味線の響き（実演）でのお迎えで心が癒され、さらに出湯たっぷりの硫酸塩泉の大浴場にて身も心もリフレッシュ。夜の宴は、車中以上に飲めや歌えや、アメリカ情勢、九十歳何がめでたい観た？病気自慢、ゴルフ等趣味談議で親睦を深め、最後のメは吉原正さんの「今日でお別れ」の美声で皆ウットリ。

翌朝も猛暑の中、会津武家屋敷を見学、続いてメインの会津の歴史を語るに欠かすことができない戊辰戦争後取り壊され、昭和四十年に天守閣が復元された鶴ヶ城（若松城）を見学後、大内宿「みなと屋」にてネギそばの昼食。（品種は不明だが地元産の柔らかいネギを使用とのことだが辛かった。五平餅に似た名物しんごろうは旨かった。）帰りの車中は「寅さん」観賞するとともに、夫々旅の余韻を楽しみながらPM五時三十分頃下館駅南口に無事到着し、来年の再会を約束し散会しました。

最後に、宿のハプニングも「怪我の

功名」で何となく得をした気分にさせてもらったとともに、過分なるおつまみ、アルコール、お茶等の差し入れ、そして旅の道中でのご協力、また今回初参加を頂きました糸澤さん、松本さん、中原さん、羽部さんにも感謝いたします。来年も実施予定ですので何卒よろしくお願いいたします。

（幹事　稲葉　次夫）

紫西会（ゴルフ同好会）

昭和62年にスタートした紫西会ゴルフコンペも令和6年7月で37年が経過し、４００回記念の節目を迎えることができました。現在の会員数は62名で、定例のコンペを毎月1回開催、40名前後の参加者が腕を競い合っています。

以下、令和5年10月から令和6年9月までの開催状況と上位入賞者です。

ましこゴルフ倶楽部（９月撮影）

第３９１回　令和5年10月11日（水）
岩瀬桜川カントリークラブ　43名参加
優　勝　佐竹　常男
準優勝　中里　唯男

第３９２回　令和5年11月14日（火）
ＪＧＭ笠間ゴルフクラブ　38名参加
優　勝　野澤　勝
準優勝　小竹　光男

第３９３回　令和5年12月13日（水）
益子カントリー倶楽部　40名参加
優　勝　深谷　毅
準優勝　早乙女秀男

第３９４回　令和6年1月9日（火）
アジア下館カントリー倶楽部　32名参加
優　勝　小池　邦雄
準優勝　中島　敏雄

第３９５回　令和6年2月14日（水）
笠間カントリークラブ　36名参加
優　勝　中島　敏雄
準優勝　宮本誠一郎

第３９６回　雨天のため中止

第３９７回　令和6年4月10日（水）
希望丘カントリークラブ　43名参加
優　勝　石川　哲夫
準優勝　渡辺　専一

第３９８回　令和6年5月14日（火）
東都栃木カントリー倶楽部　41名参加
優　勝　谷貝　淳
準優勝　土井　清
準優勝の土井さんがエイジシュートを達成しました。

第３９９回　令和6年6月12日（水）
希望丘カントリークラブ　39名参加
優　勝　中里　唯男
準優勝　小池　邦雄
谷貝淳さんがホールインワンを達成しました。

第４００回　令和6年7月9日（火）
ゴルフ5カントリーかさまフォレスト　40名参加
優　勝　安　光美
準優勝　豊田　正

第４０１回　令和6年8月7日（水）
スプリングフィルズゴルフクラブ　32名参加
優　勝　諏訪　良一
準優勝　島田　実

第４０２回　令和6年9月10日（火）
ましこゴルフ倶楽部　39名参加
優　勝　渡辺　専一
準優勝　足立　守

（幹事　中島　敏雄）

すみれ会活動報告

令和六年度すみれ会総会を五月八日に境町レストラン「クラコフ」にて開催し、令和五年度の事業報告並びに収支報告及び令和六年度事業計画、収支予算が、満場一致で承認されました。

総会終了後道の駅さかいより自動運転バスに乗車し町内を巡回しましたが、車体も低いため乗車しやすく、振動もなく乗り心地もよく、快適でした。車で道の駅に戻り買物をし、各々帰宅しました。

六月二十日には、合同庁舎にて、ペーパークラフトで茶托を作りましたが紐の引き締め方により大きさに差が出てしまい苦労しました。七月には、史跡巡りの会と合同にて会津方面の研修に参加し、八月二十一日は、合同庁舎にて、それぞれ好みの皮で便利な保険証入れを作り早速使用しております。

十月二十三日には、毛糸を使用し、可愛らしい「うさぎの編みぐるみ」を作りましたが未完成なので十一月二十八日に再度挑戦し、完成する予定です。

なお会員も高齢となり、車の運転も儘ならなくなり参加者も減りつつありますが、体を大切にし、スピードを出さず、慎重に運転し、一人でも多く参加して会を続けていこうと思います。

又、令和七年二月のすみれ会は、今年度、最後の事業として、女の子のおまつりの「ひな祭」を真岡市まで出かけて楽しむ予定です。

野村　晴子

事務局だより

文中のお名前は敬称略・順不同とさせて頂きます。ご了承下さい。

叙勲の受賞者

令和6年春の叙勲及び秋の叙勲で、次の方々が受章されました。栄えあるご受章、誠におめでとうございます。

○地方自治功労

令和6年春

瑞宝小綬章　中島　敏之　水戸市

令和6年秋

瑞宝中綬章　小野寺　俊　水戸市

瑞宝小綬章　安　義治　水戸市

瑞宝双光章　小川　俊明（ひたちなか市）

春秋の叙勲とは別に、次の方が受章されました。栄えあるご受章、誠におめでとうございます。

瑞宝双光章　片岡　満男　笠間市（令和6年4月1日付）

瑞宝双光章　柴田　敬三　石岡市（令和6年4月1日付）

瑞宝双光章　池田　巖　水戸市（令和6年7月1日付）

瑞宝双光章　山田　静男　水戸市（令和6年12月1日付）

長寿のお祝い

令和6年度中（令和7年3月31日まで）に、傘寿（満80歳）を迎えられます会員の皆様おめでとうございます。

友の会では、傘寿をお祝いし記念品をお贈りました。

今年度は、次の78名の方々が対象となりました。

○水戸支部　23名
浅野　利光　安島　富次　石川　洋子
金原　義治　神永日出男　黒澤　弘忠
小池　行夫　髙島　茂雄　高安　榮壽
戸井田かづ子　戸倉　孝　中村　武雄
二宮　敬三　樋川　靖之　舞木　善郎
大貫　浩　大山　哲男　塚本　力
永井　桃代　花枝　勝良　石川　忠通
高沢　勲　新妻　征貫

○那珂支部　23名
川崎政太郎　北見　猛雄　小澤　宏道
近藤　千秋　西野　昭子　松本　正宏
石川　和芳　樫村　正巳　後藤　雅子
櫻井　勝巳　鈴木　和己　関　義昭
中井川　実　藤根　毅　小林　好文
安原　宏　川瀬　国昭　鈴木　正光
吉澤　幸吉　綿引　久男　会沢　和男
堀越　佑一　小林　俊夫

○県北支部　7名
小貫　睦男　川又　功男　黒羽　真之
高野　修　茅根　忠　篠原　陸良
菅谷　隆

○鹿行支部　4名
飯島　亘隆　山口　義雄　荒井　政夫
高野　廣

○県南支部　7名
川島　和子　高山　健　富田　實
山岡　清司　小須田昭夫　高橋　久
東郷　良雄

○県西支部　14名
大和田敏夫　小嶋　宇内　久保田　勇
柳沼　正男　山中　正孝　小池　邦雄
小田部修一　相澤　博　斎藤　栄子
酒寄　菊治　関根　進　福田　於美
谷田部　努　阿部とし子

会員情報

歓迎！新会員

令和6年新年号掲載以降、入会された方々をご紹介します。

新会員の皆さん、よろしくお願いします。

水戸支部　6名
井上　高雄　藤井　雄二　渡邊　政美
小野寺　俊　森田　達也　大川　遵一

県北支部　2名
大越　広昭　佐竹　義人

県南支部　2名
仁平　宏　沖田　茂雄

県西支部　2名
早瀬　泰俊　市村　進

支部等変更の会員

令和6年新年号掲載以降、住所等の変更や支部間の異動がありました。

○水戸支部へ異動　保坂　光良

理事会を開催

（理事）15人
川俣　勝慶　武藤　賢治　細谷　茂治
今関　裕夫　成井　重美　朝日　正
人見　一教　長谷川　泉　泉　多加夫
関　純子　橋本由美子　澤畠　守夫
中島　平　横山　仁一　横田　英之
加門　由章
（監事）2人
生田目陽一　羽部　順行

○令和6年3月22日　出席者14人

「令和5年度補正予算（案）」、「令和5年度事業報告及び収入支出決算見込」、「平成6年事業計画及び収入支出予算」、「役員改選」、「令和6年度通常総会の対応」

（理事）16人
川俣　勝慶　武藤　賢治　細谷　茂治
今関　裕夫　成井　重美　朝日　正
人見　一教　長谷川　泉　泉　多加夫
関　純子　橋本由美子　澤畠　守夫
中島　平　横山　仁一　横田　英之
加門　由章
（監事）2人
生田目陽一　羽部　順行

○令和6年11月18日　出席者12人

報告事項として「上半期事業の進捗状況」、「支部交付金」、「会員の加入状況」を、協議事項として、「支部交付金の配分率」、「役員改選」

運営委員会を開催

委員
細谷　茂治　横山　仁一　山田　広次
泉　幸一　人見　一教　飯島　卓
上野　善孝　高畠　聖子　渡辺　洋子
小澤　正哉　増子　千勝

令和6年新年号掲載以降、運営委員会を1回開催し、次の議題を協議・検討していただきました。

○**令和6年2月1日　出席者　8人**

「第37回美術展の開催」、「令和5年度決算見込額」、「運営委員会の継続」

美術展運営委員会を開催

委員
柴田　弘道　勝村　義光　足立　洋一
樫村　弘明　荒井　洋子　小室　孝
成島　幸吉　浅野　利光

令和6年8月21日に委員8人の出席のもと、第1回美術展運営委員会を開催し、第37回県庁友の会美術展開催方法を決めるとともに、令和7年度以降の美術展開催について検討しました。

令和6年11月27日に委員8人の出席のもと、第2回美術展運営委員会を開催し第37回県庁友の会美術展開催方法を決めた。

会報編集委員会を開催

委員
川又　敏郎　細谷　茂治　會澤　勝則
増子　千勝　成井　重美　宮原　志朗
横田　義彦　晝田　照夫　勝沼　健二

令和6年8月27日に委員8人の出席のもと、会報172号（令和7年新年号本誌）の編集委員会を開催し、編集内容などを決めました。

シニアサロンをご利用ください

12月1日から11月30日までの間、趣味の会打合せや保険手続き、その他で延べ459名の方々がお見えになりました。今後とも、お茶やコーヒーを用意して皆様のお越しをお待ちしています。お気軽にお立ち寄りください。

お知らせ

第37回県庁友の会美術展のお知らせ

開催日時
令和7年1月7日（火）
～1月13日（月）　7日間
午前9時30分～午後4時まで
＊最終日（13日）は午後2時まで

開催場所
ザ・ヒロサワ・シティ会館
2F県民ギャラリー
（茨城県立県民文化センター）

駐車場料金は無料です。
水戸市千波町697
☎029-241-1166

○ぜひ皆様お誘い合いのうえ、ご観賞ください。

お知らせ

常陽銀行の「安心スマイルメニュー」について

会員の皆様のなかで、もしもの時の不安・生活面での不安・お金の管理面の不安をお持ちの方はいませんか。

県庁友の会では、財産管理や資産継承、安全な暮らしをサポートするセミナーを開催します。

令和7年度の各支部総会において、総会後の時間をお借りしまして、常陽銀行から担当者を派遣して頂き「人生100年の旅路」と題したセミナーを開催いたします。

セミナーは約30分程度の短い時間での開催となります。今後の人生をよりよく生きるための「はじめの一歩」を踏み出すきっかけとなるような内容ですので、たくさんの会員の参加をお待ちしています。

県庁友の会保険センターの「火災保険」について

県庁友の会保険センターは、令和5年4月に県庁友の会事務局から移転しましたので、お問い合わせ等は左記に直接ご連絡ください。

なお、引き続き楽天損害保険（株）及びニッセイ同和損害保険（株）の代理店として、お客様のニーズにあわせたプランをご用意しておりますので、ご利用・ご支援を賜りますようご案内申し上げます。

よろしくお願いいたします。

県庁友の会保険センター
担当　箭原（やはら）和子
TEL 029-306-8130
（FAX兼用）
TEL 080-2373-0084

JR東日本「大人の休日倶楽部」

年会費は必要ですが、「ジパング」なら、全国のJR運賃を20～30％割引となります。

また、期間限定のさまざまな特典やサービスがございます。

申し込まれる方は、お電話をいただければ、申込書をお送りします。

なお、申込書は、直接JRへお願いします。

＊会員の皆様の加入等により、友の会に手数料がいただけます。

ご寄付のお願い

県庁友の会では、会のスムーズな運営と、支部事業の充実を図るために会員の皆様の善意のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

寄付口座
常陽銀行　県庁支店
普通　1287988
茨城県庁友の会　会長　川俣　勝慶

なお、令和6年に次のお二人からご寄付をいただきました。

谷貝　啓子　様

泉　多加夫　様

ご協力いただき厚くお礼申し上げます。

編集後記

◇会報は「年1回1月発行」となっておりますが、県庁友の会のホームページでは、総会開催やお悔やみ、支部活動、趣味の会の活動報告などの最新情報を提供しています。ぜひ、ご覧下さい。

◇今年の干支は「巳」です。恒例の「年の初めに思うこと」に巳年の多くの先輩方から貴重なメッセージをいただき、ありがとうございました。皆様には、これからもお元気で地域活動や趣味などにご活躍ください。

◇昨年8月にパリオリンピック、パラリンピックが開催され、本県出身および本県ゆかりの選手が活躍されました。

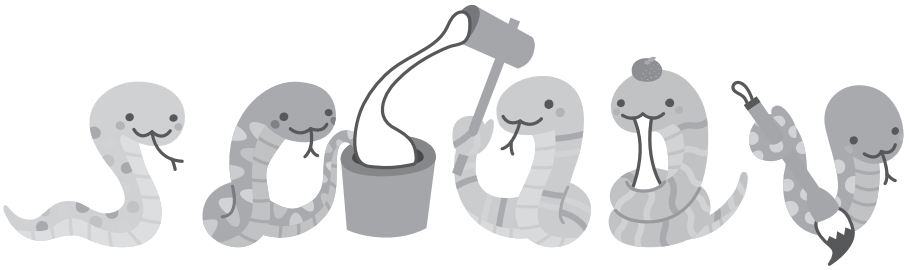
また、本県出身の作家、松永k三蔵さんが芥川賞を受賞いたしました。

今年もたくさんの、本県ゆかりの方々のご活躍が見られると嬉しいですね。

今年も各支部においても、賑やかな活動報告が出来ることを期待しています。

◇県庁友の会美術展は、出展数の減少や運営上の都合により、今回でザ・ヒロサワ・シティ会館で開催する美術展は最後となります。

今後の美術展の開催については、開催場所や開催方法等を美術展運営委員会で検討しています。



おくやみ

令和６年新年号掲載以降の次の方々について、会長から弔電を差し上げ、お悔やみを申し上げました。
また、各支部の役員が告別式等に参列し、香料を供え、心からご冥福をお祈り申し上げました。

令和５年７月　４名

鶴　岡　一　夫	（97 歳）	水戸市
横　倉　一　民	（80 歳）	笠間市
小　貫　　隆	（94 歳）	高萩市
岸　　恒　俊	（87 歳）	水戸市

令和５年８月　２名

鹿志村　　忍	（92 歳）	ひたちなか市
古　川　正　雄	（85 歳）	小美玉市

令和５年９月　１名

古谷野　　岑	（80 歳）	水戸市

令和５年 11 月　１名

豊　田　正　一	（84 歳）	水戸市

令和５年 12 月　11 名

平　賀　好　孝	（72 歳）	城里町
木　村　恒　二	（101 歳）	水戸市
駒　井　成　子	（93 歳）	鉾田市
飛　田　毅　宏	（82 歳）	那珂市
石　川　幸　男	（91 歳）	水戸市
塩　幡　寿　男	（90 歳）	常陸大宮市
福　地　幸一郎	（92 歳）	水戸市
篠　原　幹　雄	（93 歳）	栃木県宇都宮市
三　澤　政　志	（92 歳）	水戸市
礒　崎　隆　夫	（73 歳）	ひたちなか市
上　田　忠　義	（92 歳）	小美玉市

令和６年１月　８名

杉　山　宗　市	（85 歳）	城里町
滑　川　薫　子	（80 歳）	常陸太田市
木　村　一　二	（88 歳）	東海村
松　田　暄　信	（93 歳）	笠間市
篠　原　晃　重	（84 歳）	那珂市
小　山　繁　雄	（100 歳）	高萩市
根　本　説　夫	（98 歳）	水戸市
篠　崎　芳　三	（92 歳）	筑西市

令和６年２月　７名

今　泉　稔　勇	（77 歳）	土浦市
黒　沢　則　良	（78 歳）	東海村
鈴　木　孝二郎	（88 歳）	水戸市
真　野　量　次	（97 歳）	水戸市
深　見　　要	（99 歳）	筑西市
仁　瓶　とし子	（98 歳）	筑西市
野　木　利三郎	（95 歳）	那珂市

令和６年３月　11 名

大　島　みどり	（101 歳）	那珂市
谷　　芳　明	（91 歳）	水戸市
荻　谷　哲　司	（86 歳）	小美玉市
柳　橋長左エ門	（98 歳）	つくば市
小　沢　昭　二	（94 歳）	水戸市
菊　池　誠　二	（87 歳）	水戸市
竹　野　清　次	（88 歳）	水戸市
梅　原　光　昭	（93 歳）	茨城町
須　能　一　男	（90 歳）	水戸市
谷　島　良　子	（93 歳）	牛久市
岡　野　ち　か	（86 歳）	石岡市

令和６年４月　１名

元　川　　章	（83 歳）	土浦市

令和６年５月　４名

望　月　　貴	（83 歳）	水戸市
高　野　克　己	（96 歳）	笠間市
大　高　　寿	（90 歳）	常陸大宮市
鈴　木　清　子	（84 歳）	笠間市

令和６年６月　６名

塚　原　　章	（93 歳）	牛久市
秋　田　義　明	（87 歳）	土浦市
栗　林　しげ子	（94 歳）	牛久市
小　島　昌　也	（93 歳）	水戸市
飛　田　　保	（99 歳）	東海村
小　林　　稔	（91 歳）	水戸市

令和６年７月　２名

岡　田　久　司	（75 歳）	つくば市
萩　原　　健	（83 歳）	水戸市

令和６年８月　３名

諏　訪　綱　雄	（96 歳）	水戸市
武　藤　秀　孝	（94 歳）	那珂市
青　木　　昭	（83 歳）	かすみがうら市

令和６年９月　２名

高　橋　耕　三	（98 歳）	水戸市
高　橋　金　治	（77 歳）	常陸太田市

令和６年 10 月　５名

江　幡　誠　之	（84 歳）	水戸市
鈴　木　欣　一	（77 歳）	日立市
澤　邊　義　男	（81 歳）	稲敷市
三　次　芳　夫	（99 歳）	常陸大宮市
内　山　ミ　ツ	（92 歳）	潮来市

令和６年 11 月　５名

佐藤　一男	（77 歳）	鉾田市
渡辺　　亮	（89 歳）	常総市
佐藤　久生	（92 歳）	つくば市
吉崎　昌子	（91 歳）	行方市
生井　一郎	（89 歳）	筑西市

茨城県庁友の会ホームページから最新情報がご覧いただけます。

ホームページは、スマートフォーン、携帯電話（アプリ）の google から「茨城県庁友の会」を検索してください。

ホームページ
QR コード

社会福祉法人 木犀会

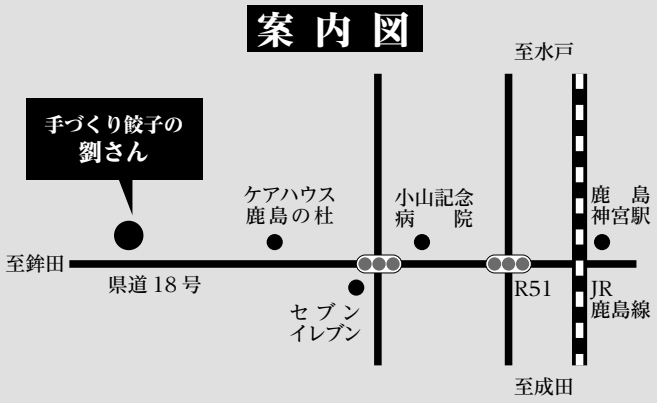
特別養護老人ホーム はぎの郷
水戸市酒門町 2946-3
TEL 029-291-7780

特別養護老人ホーム 千の杜
常総市菅生町 1319-1
TEL 0297-44-7085

※ショートステイ・デイサービス・居宅介護支援を併設しています

上記のほか県内に　【高齢者福祉サービス】6施設　【障害者福祉サービス】16施設　があります。

手づくり餃子の 劉さん
客よし・味よし・仲よし
劉　宜蓁
〒314-0047　茨城県鹿嶋市須賀 1340-9
TEL090-4536-1178
定 休 日　火・水
営業時間　11:30～21:00(14:30～17:00休憩時間)
後藤　久　TEL090-3682-7364



ご加入のおすすめ

県庁友の会保険センター

県庁友の会保険センターでは、楽天損害保険及びあいおいニッセイ同和損害保険の火災保険を中心に積立型保険・掛捨型保険を取り扱っております。
また、日本生命保険の個人年金保険及び終身保険も取り扱っております。
お客様のニーズにあわせた様々なプランをご用意しておりますので、県庁友の会会員の皆様におかれましても引き続き、ご利用・ご支援賜りますようお願い申し上げます。
なお、令和５年４月から水戸市酒門町へ住所変更いたしました。ご用命の際はお電話でご連絡くださいますようお願い申し上げます。

県庁友の会保険センター　箭原　和子（やはら）
℡　０２９－３０６－８１３０

☆快適な環境づくりのお手伝い
＜Comfortable of Environment＞
・医薬品・工業薬品・試　薬・理化学品・カネボウ化粧品

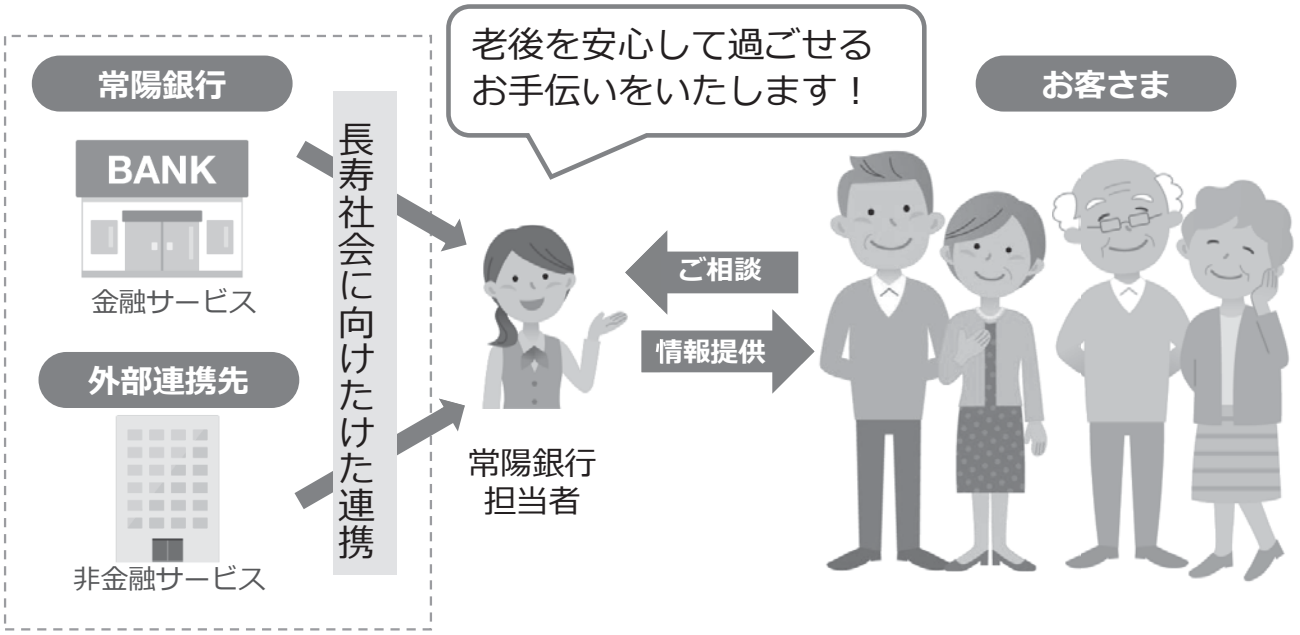
Marché 株式会社 マルシェ薬品

取締役会長　飯 島　卓（平成14年3月県職員退職）
・〒300-0054　茨城県土浦市西真鍋町4番39号
・TeL: 029-879-9322　Fax ：029-879-9325
・E：t-iijima@bz04.plala.or.jp

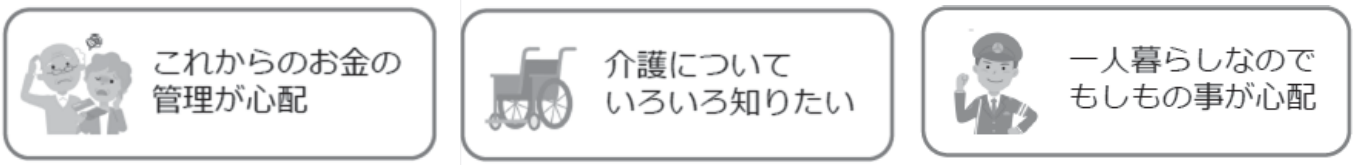
持続可能な地域社会の実現に向けて

100年時代を迎えるあなたに、確かな安心を。

常陽銀行は人生100年時代に向けて、
地域の皆さまが安心して暮らし続けられる
地域社会の実現を目指しています。



【お困りごとの一例】



ご自身の将来のことは、「お元気なうちに」準備をしておくと、ご本人様もご家族の方も安心です！

メニューによっては取扱店が限定されるものがございます。詳しくは、お取引店、またはお近くの 常陽 の窓口までお問い合わせください。
また、ホームページでもご案内しておりますので、ご覧ください。
☞ https://www.joyobank.co.jp/smilemenu/index.html

会員様には、個別で契約するより割安な集団料率の保険料が適用されています

いつでもお申込みお受付しています。

生きるためのがん保険Days1

現在のがん治療にあわせて通院をしっかり保障。

がんと向き合う人を支える基本のがん保険

<生きるためのがん保険Days1>入院給付金日額 5,000円			オリジナルプラン	保険期間
診断給付金	初めて「がん」「上皮内新生物」と診断確定されたとき	がん・上皮内新生物それぞれ1回限り	一時金として がん　上皮内新生物 50万円 5万円	一生涯保障
入院給付金	「がん」「上皮内新生物」の治療を目的とする入院をしたとき	日数無制限	1日につき 5,000円	
通院給付金	「がん」「上皮内新生物」の治療を目的とする次のいずれかの通院をしたとき ①所定の治療(*1)のための通院 ②初めて診断確定をされた日、所定の治療(*1)を受けた日、または退院日の翌日から365日以内の通院	①日数無制限 ②通院期間中(365日以内)日数無制限	1日につき 5,000円	

月払保険料例　集団取扱

左記プランの場合
解約払戻金なしタイプ
保険料払込期間：終身/定額ﾀｲﾌﾟ
特定保険料払込免除特約なし

年齢	男性	女性
60歳	3,420円	2,065円
65歳	4,070円	2,315円
70歳	4,710円	2,560円
75歳	5,320円	2,830円
80歳	5,945円	3,165円
85歳	6,635円	3,580円

保険料は、2024年6月現在のものです。

・保障の開始まで所定の待ち期間(保障されない期間)があります。
(*1)所定の治療とは、手術・放射線治療(電磁波温熱療法を含む)・抗がん剤治療(経口投与を除く)・ホルモン剤治療(経口投与を除く)をいいます。
・個人情報の利用目的：アフラックの各種商品やサービスの案内・提供・維持管理に利用します。詳しくは弊社HPをご参照ください。
・ご契約の際には、「契約概要」「注意喚起情報」「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

資料請求 ・ お問い合わせ ・ お申込みは
(平日 9:00～ 20:00 土日祝 9:00 ～ 17:00)

募集代理店連絡先
0120-357-212

募集代理店
三井住友信託銀行グループ
三井住友トラスト・ライフパートナーズ
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-11-1

引受保険会社
Aflac アフラック 東京第一法人営業部
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-6-1 丸の内センタービル19F
電話 03-6367-3666

AF003-2024-0208 6月6日(260606)

事務局からのお願い

経費削減策等へ会員皆様の協力を！！

⑴**「メールアドレス登録」が大変少ない状況です。ぜひ登録にご協力ください。**
登録は、スマートホン等からQRコードで「茨城県庁友の会」のホームページを開き、「メルマガ登録」から簡易にできます。登録により、ホームページの新着情報（おくやみ、お知らせ等）を更新したとき、その情報を随時お知らせするしくみです。本部・支部の行事や会議等、趣味の会の開催通知なども同様にお知らせします。

QRコード

　メール配信の登録・活用することで、郵便での通知を省略する（出さない）ことで経費節減に努めていきますので、ご理解・ご協力をお願いします。

⑵**「会費納入の口座振替」に変更してください。**経費節減にご協力を！
会費の納入手数料が常陽銀行からの口座振替（55円）と郵便局からの振込み（203円）では148円も多くの負担がかかります。
　ついては、郵便局から払込みされている会員で、常陽銀行に口座をお持ちの方はぜひとも口座振替に変更してください。

⑶**「会報やホームページバナー広告」に掲載してみませんか。**財源確保にご協力を！
会員の皆様をはじめ、協力可能な企業等も含め紹介してください。
詳しくは事務局までご連絡ください。（電話 029－301－6250）

凛として生きたい。そう願う皆さまに敬意をもって
快適な暮らしをご提供させていただきます。

～緑豊かな約9000坪の敷地の中で、ゆったりと過ごす時間が元気をつけます～

ローズヴィラ水戸のいこいの杜です。
実の成る木が多く皆楽しみにしています。

四季折々の草花に囲まれたローズヴィラ水戸は、ご入居者様はもちろん、ご家族様にもご満足いただけるような心豊かな終の棲家をご提供いたします。
私達スタッフ一同、心のこもったサービスをお届けしております。

◆入居一時金（1年方式）◆

〇一般居室棟　196万円より　（その他、5年、10年方式あり）
〇介護居室棟　282万円　　（その他、3年、5年方式あり）
＊一般居室棟5年方式、介護居室棟3年方式は、 86歳以上の方の優遇プラン

公益社団法人全国有料老人ホーム協会正会員　一般財団法人　安寿苑

介護付有料老人ホーム　ローズヴィラ水戸

〒310-0903　水戸市堀町1444-1　電話 029-254-8111

ホームページ　http://www.rosevilla-mito.org　　（ご入居相談担当：広木）